

安徽省国民经济社会发展第12次5年计划 纲要（全文）

（安徽省第11回人民代表大会第4回会议批准）

· 目次 ·

第一篇 指导思想与发展目标

第二篇 内需扩大方针を全面的に実施し、良質かつ急速な経
済発展を実現する

第三篇 新型工业化を加速し、現代的産業体系を構築する

第四篇 「三農」の現代化を推進し、社会主義新農村を建設
する

第五篇 アドバンテージを十分に活用し、都市と農村の調和
のとれた発展を促進する

第六篇 自主革新に力を入れ、創造的な安徽省を建設する

第七篇 省エネ・排出削減を強く推進し、エコ文明建設を促
進する

第八篇 社会の建設と管理を強化し、調和のとれた社会を構
築する

第九篇 文化の建設に力を入れ、地域のソフトパワーを強め
る

第十篇 改革開放を深化させ、発展の活力を強化する

第十一篇 省の法治路線を堅持し、社会主義民主政治の建設を強化する

第十二篇 計画の確実な実施のために

『中国共産党安徽省委員会による国民経済社会発展第 12 次 5 力年計画制定に関する提案』に基づき、安徽省国民経済社会発展第 12 次 5 力年計画綱要（2011-2015 年）（以下、「綱要」という）を制定し、主に同期間内の国民の経済・社会発展の指導思想、発展目標、主要任務、重要措置を明確に示し、政府業務の重点を明らかにして、市場主体の行為を指導する。

「綱要」は各レベル政府が法により職責を履行する上で重要な拠り所であり、本省の今後 5 年間の経済社会発展のマクロ的青写真、省内人民すべてにとっての共通の行動綱領である。政府は、特定項目プラン・地域プラン・年次計画の制定を通じて、経済的・法律的・行政的手法を総合的に駆使して、社会全体の力を結集し、第 12 次 5 力年計画の目標任務を完成させることを目指す。

第一篇 指導思想と発展目標

第一章 第 11 次 5 力年計画の大きな成果

第11次5カ年計画開始以来、党中央、国務院、中国共産党安徽省委員会の強いリーダーシップのもとで、全省の人民は鄧小平理論と「3つの代表」という重要思想に導かれながら、科学的発展観をしっかりと実践しつつ、国の中部振興促進策や内需拡大といったチャンスを積極的に利用し、工業の強化・東部への発展・イノベーション推進・中心都市による牽引作用・都市農村の統一的施策・持続可能な発展という六大戦略を全面的に実施して、「861」行動計画を着実に推進した。また国際的な金融危機による衝撃に効果的に対応し、度重なる自然災害を克服しながら、計画に定めた主な任務を無事に完成させた。経済力は大幅に高まり、地区総生産は1兆元を超えて2倍以上となり、財政収入は2倍以上の増加となった。経済成長の安定性も明確に高まった。産業構造の改善も進み、基礎としての農業の地位は強化され、穀物生産量は5年連続で過去最高を記録して616億斤（3080万トン）に達し、農業の産業化は急速に進行している。工業の主導的な地位は日に日に顕著となり、アドバンテージを持つ産業の地位はさらに高まり、ハイテク産業の発展も速度を増している。サービス業は安定した発展を見せ、都市と農村の調和のとれた発展が強化され、中心都市は一段と大きくなっている。合肥経済圏や皖江都市ベルトの発展には勢いがあり、皖北地区の発展も

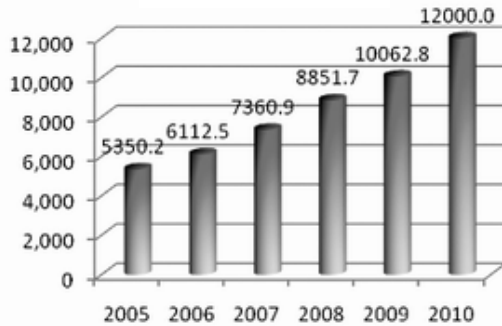
加速しており、強い経済力を持つ一群の県が急速に振興してきた。自力によるイノベーション能力も強化され、合蕪蚌自主革新総合試験地区の建設は進み、パイロット役の省として国家技術革新プロジェクトが全面的に動き始めている。交通や水利といったインフラには顕著な改善が見られ、生態環境面も強化が続いている。経済体制改革はしっかり推進され、医薬衛生体制改革・農村総合改革・地方金融体系建設では全国でもトップレベルにある。県や鎮の権限拡大や農村・都市一体化試験などの改革も積極的に推進され、政府機関の機能充実には顕著な成果が現れている。開放型経済のレベルは上昇を続けており、皖江都市ベルトの担う産業移転モデル地区の建設は全面的に動き出し、長江デルタの分業発展への参加に実質的な一歩を踏み出した。人民の生活ははっきりとした改善が見える。都市農村住民の収入はさらに高まり、民生プロジェクトのカバーする範囲は拡大を続け、社会保障体系も形成されつつある。教育・衛生・文化・体育など各種事業も進み、「平安な安徽省」建設という目標は着実に進行し、社会は調和のとれた安定した状態を保っている。第11次5カ年計画の時期は、安徽省にとって準備を整え、振興を加速した5年間、科学的で調和のとれた発展の5年間、自信を強めイメ

一ジアップを図った5年間だった。未来に向けて、安徽省はすでに新しい歴史のスタートラインに立っているのである。

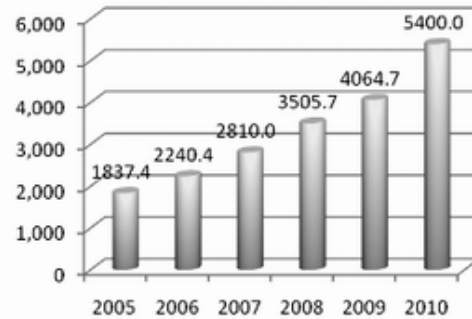
コラム1 第11次5カ年計画の主要発展目標達成状況				
指標	第11次5カ年計画目標		2010年 予想値	第11次5カ年計画 年平均成長
	2010年 目標値	第11次5カ年計画 年平均増加		
域内総生産 (当年価値、億元)	10000	> 10%	12000	> 13%
一人あたり域内総生産 (当年価格、元)	15500		19500	13.5%
五年都市就業増加(万人)	200		252.6	
財政収入(億元)	1300	15%	2063.8	25.7%
五年累計固定資産投資 (億元)	20000	18%	36500	36.2%
社会消費財小売総額 (億元)	3110	12%	4151.5	18.5%
輸出入総額(億ドル)	183	15%	242.8	21.6%
五年移転農業労働力 (万人)	300	年平均60万人増加	320	年平均64万人増加
都市登録失業率(%)	< 5		< 4	
サービス業増加値比率 (%)	43	年平均0.5ポイント 増加	36.7	年平均1.3ポイン ト減少
サービス業就業比率(%)	35	年平均1ポイント増 加	37.3	年平均1.5ポイン ト増加
研究・試験発展経費の対 域内総生産比率(%)	1.5	累計0.7ポイント上 昇	1.5	累計0.7ポイント 上昇
総生産1万元あたりエネ ルギー消費(トン標準炭)	0.97	-4.4%	0.96	[- 20%]
工業増加値1万元あたり 使用水量(立方メートル)	240		220	
都市化率	> 42	年平均1.3ポイント 以上上昇	> 43	年平均1.5ポイン ト以上上昇
都市職工基本養老保険人 数(万人)	400	5年で12.4%増加	669.5	5年で92.9%増加
新型農村合作医療カバ ー率(%)	80		100	
年末総人口(万人)	6750	< 7‰	6880	7.5‰
耕地保有量 (万ヘクタール)		- 0.3	571.8	
二酸化硫黄排出量 (万トン)				[- 5.7%]
化学的酸素要求量排出量 (万トン)				[- 6.5%]
森林被覆度(%)	28.66		27.5	
都市住民一人あたり可処 分所得(元)	12000	> 7%	15788	13.3%
農民一人あたり純所得 (元)	3800	> 7%	5285	14.9%

注：「年平均増加」欄の[]内は5年の累計値

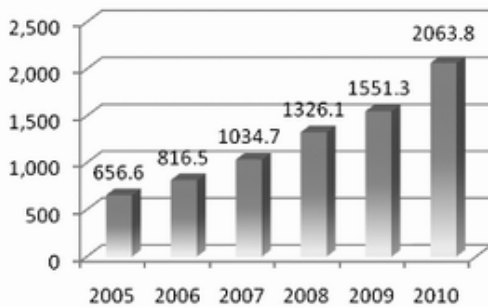
域内総生産



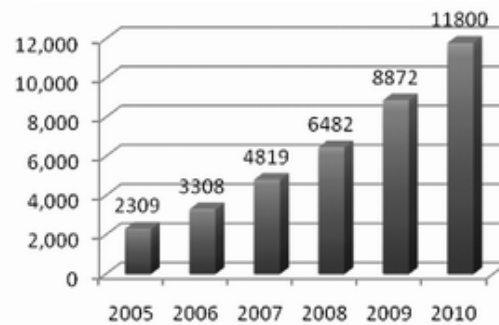
全工業増加値



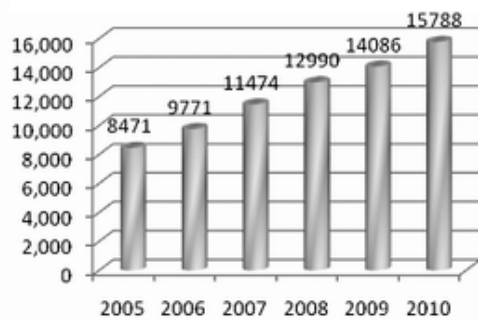
財政収入



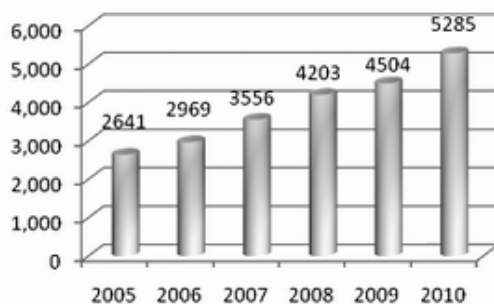
一定額以上の固定資産投資



都市住民一人あたり可処分所



農村住民一人あたり純所得



第二章 第12次5カ年計画発展の当面する情勢

総合的に判断すれば、今後5年間は安徽省にとって黄金の発展期であり、発展を早めるまたとないチャンスである。国

内外の産業移転はいつそう進み、発展する長江デルタとの分業的協力は深化している。国は内需拡大戦略を堅持し、地域発展のための総合戦略と主要機能区戦略を実施して、経済構成を沿海部から内陸部へ徐々に広げようとしている。工業化と都市化の推進は加速し、消費構造もレベルアップして、持続的な投資の効果がたえず現れている。皖江都市ベルト産業移転モデル地区・合蕪蚌自主革新総合試験地区・国家技術革新プロジェクトのパイロット省建設の着実な推進を続け、省の発展を速める重要な場になっており、経済社会发展をさらなるレベルへと引き上げるための環境は整っているといえるだろう。

同時に、今後5年間には未曾有の挑戦に直面することも直視しておかねばならない。世界経済の成長の形態が大きな調整に直面し、中国の経済発展の環境や推進力にも重大な変化が発生している。安徽省においてもアンバランスな発展、不調和、持続不可能といった問題が日増しに目立ってきている。産業構造のレベルはまだ低く、技術革新能力も不足している。中心都市の発展牽引力は強くなく、都市農村の発展の不均衡も見られる。資源環境面の制限は大きくなり、社会の建設管理という任務は膨大である上、科学的な発展を制限する制度面の障害は依然多く、発展と転換のどちらにも速度が求めら

れる二重の圧力に直面している。また、周辺の省が産業構造を競ってレベルアップしていることも、安徽省の構造調整にとって新たな圧力となっている。チャンスを生かし、問題点を減らすこと、発展の法則性を科学的に把握すること、自発的に環境の変化に適応し、各種のアドバンテージを十分利用して、目立った問題点の解決に力を入れて、経済と社会の良質で急速な発展を実現することに努力しなければならない。

第三章 指導思想

鄧小平理論と「3つの代表」という重要思想を導きとし、科学的発展観を徹底的に実践し、科学の発展をテーマに、全面的な転換、振興の加速、安徽を發展させ生活を豊かにすることを主眼において、工業化と都市化という両輪を堅持しながら、転換・開放・革新・調和を旗印として、中部振興の先頭に立って、繁栄した経済、豊かな生活、優れた生態を發展させるため、また「小康社会」の全面的な実現にしっかりとした基礎を据えるために努力しなければならない。

—「両輪」の堅持。安徽省の工業化と都市化は現在、中期の加速段階にあり、大きな発展の可能性を有している。強い工業力を持つ省を目指す戦略を継続し、中心都市の持つ牽引力を増強して、都市の人口と産業が同時に拡大するよう促し、

工業化と都市化が調和して相互作用を発揮しながら発展するようにして、経済社会の発展の強い推進力とする。

—構造転換の堅持。新型の工業化プロセスを加速し、経済成長が現代農業を基礎とし、戦略的新興産業を先頭に据え、先進の製造業と現代的サービス業によって支えられる発展路線へと転換できるようにする。新型の都市化プロセスを加速し、中心都市と県域経済に支えられた、都市と農村との調和のとれた発展路線に沿っての成長に転換する。

需要構造の改善を進め、投資頼みの経済成長から三大需要がともに牽引する成長へと転換する。自己革新を推進し、成長の原動力を物質的リソースの消費からイノベーション駆動へと転換する。社会事業を発展させて生活を改善し、発展の中心を経済成長偏向から経済と社会の調和のとれた発展へと転換する。エコ文明の建設を進め、成長モデルを粗放な成長から省エネで環境にやさしいものに転換し、スピードと質、内需と外需、発展と生活、成長と環境、経済と社会といった各方面の有機的な統一を進め、全体の調和がとれた持続可能な発展を実現する。

—開放路線の堅持。対外開放と協力に対する意識をさらに高め、地域の合作体制を整備し、東向きの発展を推進して長

江デルタ地域との分業的協力を全面参加する。海外との協力関係の分野と範囲を広げ、国内外の市場とリソースをより十分活用し、国内外の経済の大きなサイクルへの参入を進め、対外開放レベルの向上を続ける。

—革新による発展の堅持。イノベーション推進戦略の実践に努め、進取の気性に富んだ大胆な実践という優れた伝統を称揚し、重点分野や重要セグメントにおける改革で突破口を開くよう力を尽くし、科学的発展に適した体制の構築を進める。科学技術第一の生産力と人材第一の資源力を十分に発揮し、自己革新能力の強化に努め、コアコンピタンスの育成を早める。

—調和のとれた発展の堅持。社会保障や民生改善のための長期的なメカニズム構築に力を入れ、雇用促進を経済社会発展の優先位置に据え、各種の社会事業の発展を加速し、基本的な公共サービスの均等化を推進し、人民の幸福度指数を向上させることにより社会の調和と安定を促進する。省エネ型で環境にやさしい社会づくりを進め、循環型経済の発展に力を入れ、ローカーボン技術を積極的に広めることにより、経済・社会の発展と人口・資源・環境との調和を促進して、持続可能な発展路線を歩む。

第四章 発展の目標

2020年までに「小康社会」を実現するよう努力するという要求に従い、今後の発展の動向や環境を総合的に考慮して、今後5年間の経済社会発展の主要目標を次のとおり定める。

—総合力をさらに上の段階へ高める。経済の良質で急速な発展を保ち、成長の質と効果を高め、2015年までに地区GDPと財政収入を2010年の2倍にし、成長の主な指標を中部地区トップレベルとすることを目指す。2015年の皖江都市ベルトのひとりあたりGDPが全国平均を超えるようにし、省全体の地区GDPと全国平均との差をさらに縮める。

—経済構造の調整を大きく前進させる。各次産業の構造を9:53:38まで調整し、都市化率が50%を超えるようにする。自主革新能力を大きく高め、戦略的新興産業の増加率やサービス業の増加率が2倍以上になるようにし、発展のための研究や試験の経費を地区GDPに占める比率を2%にまで高め、1万人あたりの特許所有量は3.4件、ハイテク産業の増加分が大規模工業に占める比率は35%を目指す。国からの省エネ・排出削減目標を全面的に達成し、森林被覆率を29%まで高めて生態環境の改善に努める。

—地域発展の協調性を強化する。皖江都市ベルト産業移転モデル地区と合肥経済圏の省全体の発展に対する牽引力を大きく向上させる。皖北地区の発展を加速し、自己発展能力の強化を継続する。皖南地区と皖西地区では生態系のアドバンテージをさらに高め、積極的にグリーンな発展を推進する。各地区間が連動して調和よく発展する態勢をさらに形成する。

—都市・農村住民所得を広くある程度の早さで増やす。住民の所得増加を経済発展と、労働報酬の増加を労働生産率の向上とそれぞれリンクさせ、2015年に都市・農村住民の所得を2010年比2倍にすることを目指す。所得分配体系をさらに合理的なものとして、低所得者の所得を増やし、中所得者層をいっそう拡大して、貧困層を減らし、生活の質やレベルの向上を継続する。

—社会建設を大幅に強化する。就業を継続的に増やす。都市・農村住民をカバーする公共サービス体制を徐々に整備し、全省の人民の教育水準を確実に引き上げ、思想・道徳・科学・文化といった精神面のレベルと健康レベルを向上させる。社会主義民主法制をさらに健全化する。文化事業や文化産業の発展を加速し、文化的な省づくりを大きく前進させる。社会の管理レベルを引き上げ、治安や生産現場の安全をさらに好

転させ、いっそう調和のとれた安全な社会とする。2015年までに、GDP1億元以上の地区の生産安全事故による死亡率を0.2以内とし、鉱工業・販売業企業の従業員の10万人あたり生産事故死亡率を1.3以内とする。

—改革開放の新たな一步を踏み出す。財政税制金融・要素価格・国有企業といった重点分野や重要セグメントの改革を大きく前進させ、政府の職能転換を急ぎ、政府への信頼感と行政効率をさらに引き上げる。内外に対する開放の幅と深さを広げ、経済の対外比率と産業転換レベルを大きく引き上げて、長江デルタと一体化した発展構造を形成する。5年間に累計で300億ドルを超える外資の利用を目指し、2015年までに、輸出入総額390億ドル、非公有制経済が経済全体に占める比率を65%以上に高める。

コラム 2 第 12 次 5 力年計画の経済社会発展主要目標

指標	2010 年 予想	2015 年目標	年平均増加 (%)	指標属性
一、経済発展				
域内 GDP (当年価値、億元)	12000	24000 を目指す	>10 (実質)	予測性
財政収入 (億元)	2063.8	4130	15	予測性
固定資産投資 (億元)	11800	23700	15	予測性
社会消費財小売総額 (億元)	4151.5	9500	18	予測性
戦略的新興産業增加值 (億元)	780	2400	18 (実質)	予測性
サービス業增加值 (億元)	4400	9120	12 (実質)	予測性
都市化率 (%)	> 43	> 50		予測性
輸出入総額 (米ドル)	242.8	390	10	拘束性
非公有経済の対経済総量比率 (%)	> 57	> 65		予測性
二、科学技術教育				
研究・試験発展経費の対域内総生産 比率 (%)	1.5	2		予測性
人口 1 万人あたり特許保有量 (件)	0.66	3.4		予測性
九年制義務教育徹底率 (%)		93		拘束性
高校段階入学率 (%)	80	87		予測性
三、資源環境				
耕地保有量 (万ヘクタール)	571.8	571.8		拘束性
工業增加值単位あたり使用水量削減 (%)			国が通知	拘束性
単位総生産あたりエネルギー消費削 減 (トン標準炭)	0.96		国が通知	拘束性
単位総生産あたり二酸化炭素排出削 減 (%)			国が通知	拘束性
非化石エネルギーの対一次エネルギ ー消費比率 (%)	2.5	6		拘束性
主要汚染物質 排出削減 (%)	化学的酸素要求量		国が通知	拘束性
	二酸化硫黄		国が通知	拘束性
	アンモニア態窒素		国が通知	拘束性
	窒素酸化物		国が通知	拘束性
森林増加	森林被覆率 (%)	27.5	29	拘束性
	森林蓄積量 (億立方メートル)	1.8	2.2	拘束性

四、人民生活				
年末総人口（万人）	6880	7140	7.5%	拘束性
都市登録失業率（%）	< 4	< 5		予測性
五年都市新規増加就業（万人）	252.6	300		予測性
財政民生支出（億元）うち：民生工程	1096	2403	17	予測性
	345	725	16	
都市参加基本養老保険人数（万人）	670.24		五年で500新設	拘束性
新型農村社会養老保険参加人数（万人）	349.4	3500		拘束性
都市基本医療保険参加率（%）	99	> 99		拘束性
新型農村合作医療参加率（%）	96	> 96		拘束性
都市住居確保工程建設（万戸）			五年累計200	拘束性
都市住民一人あたり可処分所得（元）	15788	31576を目指す	> 10	予測性
農村住民一人あたり純所得（元）	5285	10570を目指す	> 10	予測性

第二篇 内需拡大方針を全面的に実施し、良質かつ急速な経済発展を実現する

第五章 効果的な投資の積極的拡大

第一節 「861」アクションプランの実施

戦略的新興産業・先進製造業・エネルギー・原材料・優良農産物生産加工・文化・旅行・現代的物流という8大産業を形成し、総合水利・交通ネットワーク・環境保護・金融支援・人材・民生という6大ベーシックプロジェクトを進め、2015年の地区GDPをさらに倍増させることを目指す。マルチレベル・マルチシステム・開放型・アクティブ型の「861」アクションプラン管理体制を全方位的に構築し、段階的な推進モデルを形成する。プロジェクトの審査・承認・登録・土地供給・環境評価・融資などの「簡素化ルート」をつくり、プロジェクトのフォローアップサービスとコーディネートを強化し、投資効果を高め、最後まで経済発展が力強く進むようにする。

第二節 投資構造最適化に力を入れる

戦略的新興産業、先進製造業、現代的農業・サービス業、重要インフラ、民生プロジェクト、社会事業、省エネ排出削減、環境保護などの分野への投資を増やす。国の産業政策に厳密に従い、生産過剰項目、特に汚染やエネルギー消費が激しい、立ち遅れたプロジェクトを抑制する。外資・民間資本・政府投資など投資主体の多元化を全面的に推進し、財政資金のレバレッジ作用をさらに発揮させ、社会からの資金投入増

加を合理的な指導により十分に刺激し、民間投資や省外・海外投資をさらに引き出す。

第六章 消費需要拡大に努力する

第一節 消費市場の積極的な開拓

都市・農村住民の収入を増やし、消費能力を向上させる。消費のホットスポットを育て導くことに力を入れ、安徽省の優れた産業と製品を中心に、消費規模が大きく、牽引力を発揮し地域経済に貢献する消費のホットスポットを確立する。また自動車・住宅・旅行・通信といった重点分野での消費を拡大し、消費構造を改善する。文化やレジャー、教育研修、スポーツ、老人関連サービス、家内労働の社会化といった成長の見込めるサービス消費の発展に力を入れ、潜在的な消費を掘り起こす。国家の各種消費促進策を着実に実践し、農村への家電普及や家電の新旧交代などを推進し、農村市場を全面的に開拓して農村と農民の消費レベルを向上させる。省外市場を切り拓き、安徽省の製品の国内での知名度・評価・市場シェアを高め、安徽省の経済成長に対する省外消費の牽引力を高める。

第二節 消費環境の改善

都市・農村の市場運営に対する監視体制を整備し、市場調整のシステムづくりを強化し、市場の安定した運営を確保する。社会的信用システムづくりを強め、業界への監督管理を強化し、市場参入を規範化する。市場経済秩序の整備に力を入れ、商品品質の監督管理を強め、偽物や不良品の販売行為を厳しく取り締まり、消費の安全を確保する。消費者の権益保護を健全化し、消費と消費者保護に関する規則や体制を整備し、良好な消費環境をつくる。

第三篇 新型工業化を加速し、現代的産業体系を構築する

第七章 工業の総合競争力を増強する

消費構造のレベルアップと産業構造の調整から来る必要に応え、新興産業の育成と伝統産業の改善を緊密に組み合わせて、一群の千億元産業・千億元企業・千億元工業団地づくりを進めて、新型工業化を加速する。

第一節 戦略的新興産業の育成

戦略的新興産業育成を今後の発展を占う重要な突破口とし、知的財産権戦略の推進に力を入れ、リーディングカンパニー—重要プロジェクト—産業チェーン—産業集合体—産業拠点という考え方に従い、戦略的新興産業の「千百十プロジェクト

ト」を進め、電子情報・省エネ環境保護・新エネルギー・バイオ・先端機器製造・新素材・新エネルギー自動車・公共安全産業の発展を促進し、2015年までに戦略的新興産業の生産高1兆元突破を目標に、今後の安徽省の発展を担う新たな支柱を形成する。

電子情報産業。新型ディスプレイ・スマート家電・集積回路・ソフトウェア・情報サービスと「モノのインターネット」を重点的に発展させ、中国（合肥）国家級新型パネルディスプレイ産業基地・合滁蕪情報家電産業ベルト・合肥音声産業基地の建設やレベルアップを図り、一群の電子部品産業パークを形成する。

省エネ環境保護産業。環境保護設備や省エネ製品を重点に発展させ、資源の総合利用とリサイクルを促進し、蕪湖省エネ環境保護・グリーン照明産業基地と滁州-馬鞍山-銅陵-池州グリーン照明産業ベルトを建設し、合肥のセメント設備および環境保護機器を発展させる。

新エネルギー産業。太陽光・バイオエネルギー・クリーン石炭・原子力・風力による発電を重点とし、揚水式水力発電所を適宜建設し、一群の国家レベルグリーンエネルギー県を

設立する。太陽光やバイオマスなど、一群の新エネルギー基地を建設する。

バイオ産業。バイオ製薬・現代漢方薬・生物育種などの産業を重点とし、蚌埠バイオ産業基地・亳州現代漢方薬産業基地・蕪湖バイオ医薬産業基地・合肥バイオ医薬産業基地を拡大強化する。

先端機器製造業。デジタル化され、柔軟でシステム統合された重要基礎設備、工業分野の重要技術設備ライン、新型の基本部品の発展を重点として、設備の統合や協働を行える体制を全面的に整え、合肥のプラント設備および工業ロボット、淮北淮南の石炭設備、河川沿いの船舶、蕪湖の大型鑄造部品、馬鞍山の冶金設備といった機器製造基地のグレードアップを図る。

新素材産業。高性能金属・シリコンベース素材・膜素材・ナノ素材・カーボン繊維素材・新型ディスプレイ素材・希土類永久磁石・複合素材・特殊素材を重点として、銅陵の銅ベース新素材産業基地・馬鞍山の高性能鉄ベース新素材産業基地・滁州のシリコンベース新素材産業基地・安慶の化学工業新素材産業基地・池州の高分子素材産業基地・黄山の新型包装材産業基地を育てる。

新エネルギー自動車。電気自動車とハイブリッド車を重点に、動力電池・高性能モーター・電気制御システムの発展を推進し、合肥と蕪湖の新エネルギー自動車産業基地をつくって新エネルギー自動車本体の産業化を促進する。

公共安全産業。通信セキュリティー、生産現場の安全、食品の安全、情報と交通の安全、鉱山の安全といった産業を重点に、量子産業技術の産業化を促進し、戦略的に大きな意味を持つ情報セキュリティーセンターを設立し、合肥公共安全産業基地をつくる。

コラム3 戦略的新興産業の「千百十工程」

◆重要プロジェクトの実施。戦略的新興産業重点分野を中心に、高世代液晶パネル、ディスプレイ用/太陽光発電用ガラス、LED エピタキシャルウェハー/チップ、集積回路、太陽エネルギー電池/ユニット、新エネルギー自動車用電池、NC 工作機械、新型省エネ環境保護設備、銅/鉄ベース新素材産業チェーン、わらのバイオマス精錬産業化、量子通信の産業化、新エネルギー自動車本体の産業化といった一群の新興産業関連の重要プロジェクトを進める。2015年までに、1000個ほどの新興産業プロジェクトを進める。

◆一群の先導的企業の強化。コアテクノロジーを有する、牽引力の強い業界リーダー企業を重点的に誘致し、安徽省の大企業・大学・科学研究所などの新興産業発展を推奨し、高成長の中小ハイテク企業の拡大強化を助ける。2015年までに、100社ほどの新興産業リーダー企業の育成と誘致を進める。

◆一群の産業基地の形成。既存の各種パークの新興産業発展を促し、企業や各種要素がパークに集まるようにして、新興産業の生産体制や関連サービス体制の形成を助け、合肥のパネルディスプレイ、合肥の新エネルギー/新エネルギー自動車、蕪湖の光電/太陽発電素材、蚌埠のバイオ、馬鞍山の新素材といった10カ所ほどの国内をリードし、はっきりとした特色を持つ新興産業基地を建設する。

第二節 優勢な産業の拡大強化

大規模化・クラスター化・ブランド化を目指し、自動車・設備製造・家電・食品といった優勢な産業を拡大強化して、全国的な重要性を持つ先進の製造業基地とする。

自動車産業。ブランドの影響力を全面的に高め、製品車両の品質を向上させて、中級～高級車の比重を増す。新エネルギー自動車の積極的な推進。省エネ・エコ・高付加価値の特

定用途車両・重要部品の発展を促す。国内での地位を固め、向上させる。

設備製造業。規模の拡張と構造のレベルアップを推進し、中心技術とシステムの技術開発力を高め、自主ブランドを育てる。優位な位置にある工程設備・電気器材・工作機械・ポンプ/バルブ・環境保護/省エネといった業界の発展に力を入れ、冶金・セメント・石炭・石油化学といった業界の大型ライン設備を発展させ、高性能船舶と新型船用の機器製造の発展を促す。

家電産業。研究開発能力と関係分野の能力を高め、冷蔵庫・空調・洗濯機・テレビのハイエンド製品の比率を上げて、地域ブランドの知名度を向上させる。各種小型家電を積極的に発展させる。研究開発・生産・販売が一体となった、国内的に重要な家電産業拠点を形成する。

食品工業。先導的企業を積極的に育て、著名ブランド確立に努め、安全な原料基地をつくり、水稻・小麦・肉類・水産物・乳製品・茶葉・野菜果物などの加工製品を重点的に発展させる。国内的に重要な食品工業の拠点を形成する。

第三節 在来型産業の向上

構造改善・レベル向上・環境保護といった要求に従って、従来の産業が持つ優れた点を十分に活用し、情報化と工業化の融合を推進して、繊維服飾・冶金・建材・化学といった産業をレベルアップする。

繊維服飾産業。産業転換を積極的に行い、産業の集約をさらに進め、自主ブランドを育成し、繊維工業では品質を、服飾工業ではブランド力を高め、産業用繊維製品では特色ある製品づくり、家庭用繊維製品では製品の組み合わせによる発展を図る。先導的企業数社、および特色ある産業を持つ一群の産業集合体を形成する。

冶金産業。構造調整と省エネ/排出削減を中心とした改造にさらに力を入れ、生産効率の低い設備を淘汰し、上質の鋼材/特殊鋼材製品、銅/アルミ加工製品、非鉄金属新素材を重点的に発展させ、市場に不足しているハイエンド製品の比率を高める。鉱物資源の合理的な開発を推進する。良質の鋼材や非鉄金属の精錬加工基地として、国内的に重要な地位を築く。

建材産業。省エネ/環境保護を中心に構造調整をさらに進め、大規模設備によって小規模設備を置き換える方向でセメント業を発展させる。非金属鉱物の加工や変性素材を積極的に発展させ、新型の省エネ/エコ壁面素材、上質ガラス、装飾材料、

衛生陶器を特に発展させる。国内的に重要な珪酸塩産業基地および一群の非金属鉱物加工産業集合体を形成する。

化学工業。原油加工能力をさらに高め、産業チェーンを伸ばし、新型の石炭化学工業を発展させ、ファインケミカル工業・ソーダ工業・バイオ工業・硫酸/リン化学工業などを積極的に育てて、産業をハイエンド方向に発展させるようにする。長江沿い・淮河沿いの石油化学工業基地と新型石炭化学工業基地を建設する。

コラム 4 製造業発展方向の重点

◆自動車および自動車部品。国内外の生産能力配置と製品構造の調整への対応に力を入れ、乗用車エンジンおよび自動ギア、ヘビーデューティエンジン、乗用車、大型貨物車、特殊用途車、タイヤなどの生産能力整備を推進する。

◆設備製造。大型鑄造部品・NC 工作機械・掘削機・減速機・フォークリフト・地下採掘機器および鉱物/冶金機器設備・化学工業設備・省エネ/環境保護設備・電気工事器具・軌道交通設備・河川船舶および船用機器・高級鋼石油パイプ材・農業用機械などの建設を重点的に推進する。

◆家電製品。空調機器と重要部品・大型テレビ・冷蔵庫・洗濯機・小型家電および他の家電製品を重点的に発展させる。

◆食品。皖北地区の小麦、長江沿岸地区の水稻および油脂加工、皖南・皖西・皖西南地区の天然食品加工基地、および一群の肉類・青果類加工基地、食品と農業副産物の加工基地などの整備を急ぐ。

◆繊維服飾。安慶・六安・淮北・馬鞍山などの綿紡績/服飾産業、桐城・六安の羽毛産業、蕪湖をはじめとする皖東南地区の服飾産業、阜陽・淮南・六安・宿州の服飾産業、滁州をはじめとする特色ある繊維や産業用繊維製品の産業、六安・銅陵の麻繊維産業など各産業クラスターを整備する。

◆冶金。高級鋼、石炭発電とアルミの共同運営、銅資源の管理および銅材加工、鉄鉱石資源の開発利用、鉛/亜鉛精錬などを重点に推進する。

◆建材。長江沿岸のセメント産業の大型化を進め、炭酸カルシウム、超微細炭酸カルシウムおよび石膏、パリゴルスカイト、セラミック、カリ長石などの開発利用を進める。

◆化学工業。石油化学工業とその下流側の一連の製品を発展させる。淮南・淮北宿州・阜陽亳州・巢湖の四大石炭化学

工業基地の整備を進め、合肥・銅陵・蕪湖・池州などの特色ある化学工業基地づくりを積極的に行い、大型エチレン工程の前期作業を推進する。

第四節 企業組織の構造改革

売上が1千億円を超える一群の企業を育てる。優れた企業を主体とした連合や再編を推進し、中央企業との合資や合作を強化し、戦略的投資者を積極的に導入する。重要プロジェクトを推し進め、大型の企業やグループが生産要素・上下流製品・市場ルートなどを統合し、優れたリソースの重点企業への集中を促進し、馬鋼集団や銅陵非鉄金属集団といった一群の千億元規模の企業集団の形成につとめ、中心企業の牽引力を強める。

中小企業を大きく発展させる。関連産業を集約へと方向づけ、専門化による分業レベルを高めて関連製品調達力を強め、産業クラスターの発展を促進し、専門的かつ特色ある一群の重点産業クラスターを形成する。2015年までに、一定以上の規模を持つ企業数を2倍以上にする。

第五節 ブランド戦略の強化

品質重視戦略・ブランド戦略・技術標準戦略を強力に推進する。社会全体の品質意識を高め、製品やサービスの品質を重視し、監視を強化する。国家・省レベルのブランドの創造に力を入れ、重点企業や重点製品ブランドの影響力を拡大し、その後の業界発展を主導する地位を占める。一定の条件を備えた企業による国際ブランドや販売ネットワークの買収・合併・資本参加を推奨し、企業が生産・製造から販売サービス分野へ、製品マネジメントからブランドマネジメントへと拡大するよう促し、企業の持続可能な発展の力を強化する。企業標準の設定を進め、健全な技術標準体系を確立し、企業が主体となる、または企業が参与する国際標準・業界標準・地方標準の制定を支援する。

第六節 情報化と工業化の融合

従来の産業へのITの応用を進め、製品の研究開発や設計、生産プロセスの制御、マーケティング、企業マネジメント、アフターサービス、省エネ/排出削減といった分野へのITの応用や融合を強化する。情報化・工業化融合のモデルづくりを積極的に行う。重点企業や基幹企業の電子ビジネスの使用をさらに進め、中小企業向けの情報化サービスの場を積極的につくり、中小企業が電子ビジネスによって国際市場を開拓

するよう促し、ITによって従来のビジネス手法の改造を推進する。

第七節 開発区の転換とグレードアップの促進

自由な考え方で体制を刷新し、メカニズムを整備し、開放を一段と推進し、開発区を標準化、特色化、集約化の方向へと発展させる。一定条件を備えた省レベル開発区の拡大やグレードアップを支援し、条件にかなう市・県が省レベルのハイテク産業開発区を建設することを支援し、郷鎮工業が集中する地区の秩序ある発展を指導し、工業区の共同建設を積極的に展開する。産業の位置づけを明確にし、各自の市場や特色を活かした発展を継続して、開発区の整備にさらに力を入れ、関連する産業や要素の集約を促し、はっきりした特色を持つ専門化された一群の工業団地を育てる。開発区に加わるプロジェクトの品質や投資額を引き上げ、地区内の用地からの退出制度をつくり、汚染防止とクリーン生産を強化して、資源節約型の環境にやさしい工業パークとする。社会資本の開発区インフラ建設への参与を積極的に促し、付属施設などの環境を整備する。開発区の管理体制を刷新し、優秀かつ高効率な管理チームを維持する。合肥経済開発区、合肥ハイテ

ク開発区、蕪湖経済開発区など、一千億元を超える生産高を持つ一群の開発区を育てる。

第八章 サービス業の大幅な発展の促進

工業化と都市化を急速に発展させる必要に応えて、サービス業を発展させ、投資を増やし、分野を拡大し、さらにオープンな状態にし、十分な機能を有する、高効率かつ供給力のある現代的サービス業体系を構築し、サービス業の比率とレベルを向上させる。

第一節 生産性サービス業の発展

物流業。統一的な計画をもって、合理的な配置を通じて高効率でスピーディーな現代的物流体系を形成する。皖江外向型現代物流産業ベルト、合肥物流圏、淮河沿岸物流産業ベルトの三大物流エリアを建設し、合肥・蕪（湖）馬（鞍山）を全国的な重要性を持つ物流センターとする。蚌埠・安慶・阜陽などを地域物流センターとし、他の都市の物流基地づくりを支援する。総合物流センター・専門物流センター・配送センターを発展させる。サードパーティ物流企業の育成と誘致を進める。公共の物流情報プラットフォームを設け、物流情

報リソースの共有と物流ネットワークの相互利用を促進する。
長江デルタ物流圏との一体化を進める。

金融業。既存の金融機関のサービス水準向上を支援する。地方金融の体系化を推進し、地方の金融リソースを整理して、徽商銀行・国元証券・華安証券・国元農業保険などの地方金融機関を強化し、農村信用社の改革をさらに進め、農村銀行・村鎮銀行・資金互助社などの農村金融機関と都市銀行を発展させる。少額ローン企業や融資担保企業などの金融組織を規範のもとで発展させ、証券・先物・信託・自動車金融・財務企業・金融リース・質屋などの金融業態をさらに発展させる。国内外の金融機関の支店や後方業務機関を積極的に誘致し、合肥を全国の金融後方業務拠点および地域の金融センターとし、蕪湖の皖江地区金融センターを支援する。直接融資の比重を増し、企業の上場を促進し、上場企業の再融資および M&A 再編を支援する。債券市場を発展させ、企業再建・短期融資債券・中期小切手の発行規模を拡大する。金融革新を積極的に奨励し、新型の金融派生商品を導入または開発し、地方先物取引所の設立を検討し、地域的な株式/財産権の取引市場を発展させる。産業投資基金と創業投資基金を大きく発展させる。支払いシステムの整備を継続し、サービスが整い、ある程度市場化の進んだ銀行カード産業システムを確立する。保

険の持つ経済保証・資金融通・社会管理などの機能を十分に活用し、保険業の規模と比重を拡大し、さらに多くの保険資金が安徽省で直接投資を行うよう誘致する。地方の特色ある金融政策システムを構築または整備をし、金融の監督管理を強化して、良好な金融生態環境をつくりだす。

ビジネスサービス業。法律・会計・コンサルティング・評価・広告・企画・就業や労務の仲介などのビジネスサービス業の発展を後押しし、ビジネスサービス商品と方法のイノベーションを促す。中央ビジネスエリアを設定し、ビジネスサービス機関を集中的に配置して、本店の経済を大きく発展させ、国内外の大型企業による地区本部・研究開発機関・サービスセンターなどの設置を誘致する。

科学技術と IT サービス業。科学技術の研究開発、技術の普及、工業デザイン、省エネ/環境保護サービスなどの業界の発展を後押しし、科学技術の成果の転換と産業化を促進する。各種科学技術系サービス機関の振興に努める。システムインテグレーション、通信サービス、コンピュータネットワーク/データベース、ソフトウェア開発といった情報サービス業を発展させる。「モノのインターネット」産業を発展させる。

第二節 生活サービス業

商業サービス業。都市のビジネスサービス機能を整備し、新型の都市総合商業施設の建設を企画し、一群の大型高級ショッピングセンターや大型スーパーマーケットを発展させ、大型の専門市場と卸売市場を建設し、コミュニティーを重点とした利用しやすい商業サービス体系づくりを進め、多層的で多機能、システム化されたコミュニティー商業体系の形成に力を入れる。特色ある商業地区を育てる。クレジット消費を奨励する。集中配送化を促し、ブランドチェーン店・専門店・コンビニエンスストア・ネットショッピングなど特色ある流通の新業態の発展に力を入れ、都市の宅配・物流サービスネットワークを整備し、利用しやすい、特色がある、チェーン展開型の飲食店とホテルサービス業の発展を推進する。農村向け市場システムづくりである「万村千郷」工程をさらに進め、農村の郵政や物流の発展に力を入れ、現代的な流通が農村の市場に達するようにする。重点流通企業を育て、一群の先導的流通企業と商業ブランドを形成する。

旅行業。皖南国際文化旅行モデル地区・合肥経済圏旅行地区・大別山旅行地区・皖北旅行地区・皖西南旅行地区を設定し、安徽の文化・皖江の都市・淮河の風情・皖北の歴史という四大旅行ベルトを構築する。旅行インフラを整備し、旅行商品開発とルートデザインを強化して、上質な旅行を中心と

した戦略を実施し、旅行や観光をレジャー・スポーツ・ショッピング・ビジネスと組み合わせ、旅行産業チェーンを拡大し、安徽省の特色ある旅行商品を開発する。旅行企業の大規模経営を支援し、全面的なサービス機能を持った、競争力ある旅行企業集団をつくる。2015年までに、訪問客500万人、旅行業総収入3000億元を達成し、全国的に重要な、優れた旅行経済を有する観光地としての省づくりを進める。

不動産業。通常の商品住宅の有効な供給量を十分に増やし、特に小型～中型で価格も中程度以下の商品住宅の供給を増やす。健康住宅・グリーンエコ住宅・省エネ省土地型住宅を発展させ、工業や科学技術などの不動産開発を積極的に推進する。不動産分野のブランド企業を育て、競争力とリスク対応能力を高める。各級政府の職責を強化し、不動産市場の監督管理を強め、不動産情報システムの建設を急ぎ、不動産の取引・仲介・管理サービス体系の標準化と整備をさらにすすめ、不動産業の健全な発展を促進する。

コミュニティーサービス業。政府が支え、社会が参加し、市場で運営される現代的なコミュニティーサービスの発展体制を確立する。養老/託児・家庭の医療・家庭での教育・清掃・メンテナンスといった便利な家政サービスを発展させ、広い

範囲で多層的な、ソーシャルな住民サービス体系を形成する。老人向けのソーシャルなサービスの普及に努める。

第三節 新興サービス業態の発展育成

サービスのアウトソーシング。国際的なサービスアウトソーシング業務の急速な発展に合わせ、一群のアウトソーシング企業を大きく育て、人材を育成し、国際認証を取得させ、国内外のアウトソーシング市場を開拓し、情報技術や業務フローのアウトソーシングを重点としたオフショアアウトソーシングを発展させる。合肥の中国サービスアウトソーシングモデル都市づくりを推進し、蕪湖・馬鞍山などのアウトソーシング産業発展を促進する。

コンベンション経済。中国国際微商大会、中国（合肥）自主创新要素对接会、中国（蕪湖）科普博覧会などの場を利用し、特色豊かな、広範な影響力を持ついくつかのブランド展示会をつくる。安徽国際コンベンションセンター、オリンピックセンターおよび各種大型体育施設をベースに、さらにコンベンション施設の建設を強化する。コンベンションサービス企業を育て、コンベンションの競争力を向上させる。合肥、蕪湖、黄山といった都市を重点に、全国的な重要性を持つコンベンション開催都市づくりに努める。

創造性産業。政策支援を強め、アニメ/ゲーム・デジタル出版・科学教育・現代メディアといった産業の発展を進め、一群の創造性産業パークの建設を計画し、創造性産業の企業や人材の誘致と育成に努め、合肥・蕪湖にアニメ産業および文化映像基地を、馬鞍山にはアニメ・ゲーム産業基地を設立し、映像とゲームが一体化した産業体制を構築する。

第九章 基礎産業とインフラの強化

第一節 現代的な総合交通輸送体制の構築

「適度に前倒し」という原則に従い、地域全体や都市農村間の交通の調和のとれた発展を計画する。都市の交通の能力を向上させ、交通の技術環境を改善し、輸送サービスの水準を高め、高速鉄道・高速道路・千トン級航路・民間空港の建設を骨格とし、一般鉄道・自動車道・航路・農村公道を基礎として、総合交通ターミナルを利用した、便利で安全、高効率な現代的総合交通輸送体系とする。

鉄道。高速旅客鉄道網とエネルギー輸送の保障を重点として、旅客輸送専用線・都市間鉄道・エネルギー輸送ルート・主要鉄道ターミナルの建設を進め、鉄道網の質と技術・設備のレベルとを向上させる。5年間に鉄道3100キロを敷設し、

うち旅客専用線を 2200 キロとする。2015 年までに鉄道の営業距離を 6000 キロまで伸ばし、主な鉄道路線では旅客と貨物の分離輸送を実施する。高速旅客鉄道が省管轄の市すべてをカバーするようにし、貨物輸送能力を大きく高める。

道路。高速道路は道路ネットワークの整備を重点とし、地域内のルート建設を進め、行き止まりのルートを解消し、2015 年までに「南北 4 本、東西 8 本」の高速道路骨格をほぼ完成させ、開通距離 4500 キロを目指し、すべての県を高速道路でカバーするようにする。幹線道路は既存道路の高規格化を重点とし、経済幹線・省外連絡ルート・旅行幹線・交通ターミナル連絡ルートを建設し、2015 年までに国・省の幹線道路を基本的に二級以上の標準とする。農村公道では県・郷公道の改造、橋梁の強化改造、安全工事を重点実施する。

水運。高等級の航路建設と港の專業化水準向上を重点として、長江・淮河の本流支流航路を整備し、長江沿岸・淮河沿岸・合肥などのコンテナ・石炭・雜貨埠頭の建設を進める。2015 年までに、高等級の航路総延長を 1500 キロとし、省全体の港湾スループット能力を 5 億トンまで高め、蕪湖を長江流域の重要な船舶輸送拠点とする。

民間航空。民間航空の空港配置を整備し、空港の輸送条件や使用環境を改善し、航空輸送サービスのカバー範囲を広げ、一般航空による輸送を発展させる。2015年までに民間航空用の飛行場6カ所を開設し、いくつかの一般用空港を建設する。

総合交通ターミナル。高速道路の旅客駅や飛行場に、幹線道路・都市交通・都市間鉄道などさまざまな輸送方式を接続して、一体化された総合旅客ターミナルをつくる。重点鉄道貨物駅や港湾に、幹線道路などさまざまな交通が接続し、一体化した連絡輸送体系をつくる。合肥・蕪湖・蚌埠・阜陽・安慶・黄山の総合交通ターミナル建設を進め、2015年までに総合交通ターミナル体制を整え、合肥を全国的に重要な総合交通ターミナルとする。

都市交通。計画的開発・バス優先・乗り換えのしやすさなどの原則を堅持しながら、都市の道路建設を進め、都市の軌道交通の発展を急いで、都市・農村が一体となった、さまざまな輸送方法が相互に接続し合う乗り換え体系を打ち立て、すばやく全面的でインタラクティブな公共交通情報サービスシステムを確立し、都市の交通整理能力と効率を高める。

コラム5 重要な交通プロジェクト

◆鉄道。建設継続プロジェクト：京滬高速鉄道安徽省内部分、合肥-蚌埠、南京-安慶、合肥-福州、皖贛新双線、阜陽-六安、宿州-淮安などの鉄道。建設開始プロジェクト：黄山-杭州、鄭州-碭山-徐州、商丘-合肥-杭州、池州-九江、合肥-安慶都市間連絡、宿州-淮北-徐州、宿州-亳州、六安-廬江-銅陵、六安-安慶-景德鎮などの鉄道。

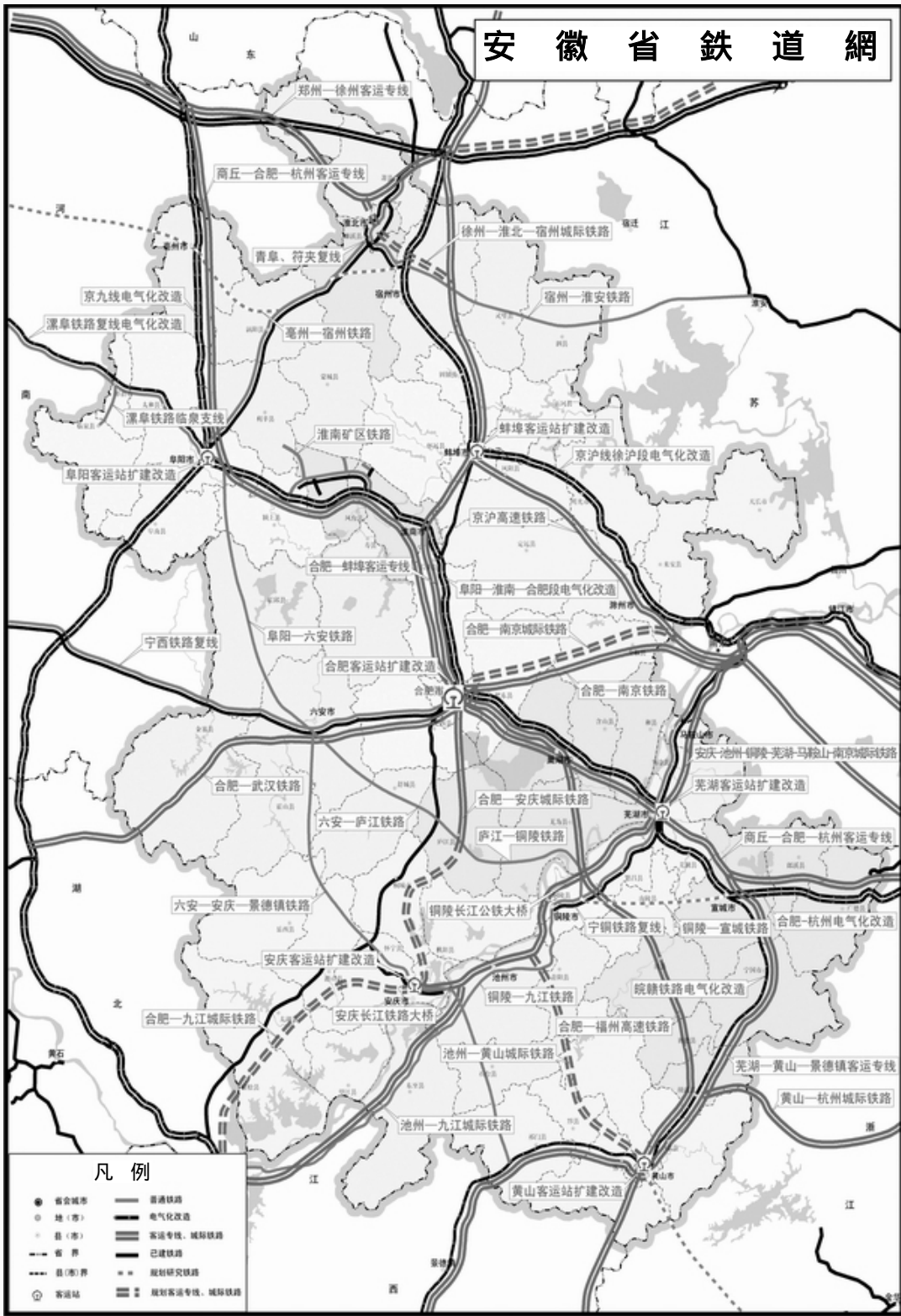
◆高速道路。建設継続プロジェクト：徐州-明光、許昌-宿州-泗洪、寧国-宣城-千秋関、揚州-績溪、蕪湖-雁翅、黄山-祁門、北沿江、東至-九江、阜陽-新蔡、銅陵-南陵-宣城、淮南-蚌埠-鳳陽などの高速道路。建設開始プロジェクト：武漢-岳西-桐城-廬江-無為、濟南-祁門、宿州-揚州、阜陽-淮濱、巢湖-銅陵(銅陵長江道路鉄道両用大橋北岸連絡線)、蚌埠-五河、淮南-滁州などの高速道路。

◆長江横断ルート。建設継続プロジェクト：馬鞍山長江公路大橋、寧安都市間鉄道安慶長江鉄道大橋、合福鉄道銅陵道路鉄道両用長江大橋。建設開始プロジェクト：望東長江公路大橋、池州長江公路大橋、蕪湖長江公路第二橋梁、商合杭鉄道蕪湖道路鉄道両用大橋。事前検証プロジェクト：安慶長江公路第二橋梁、馬鞍山長江公路第二橋梁。

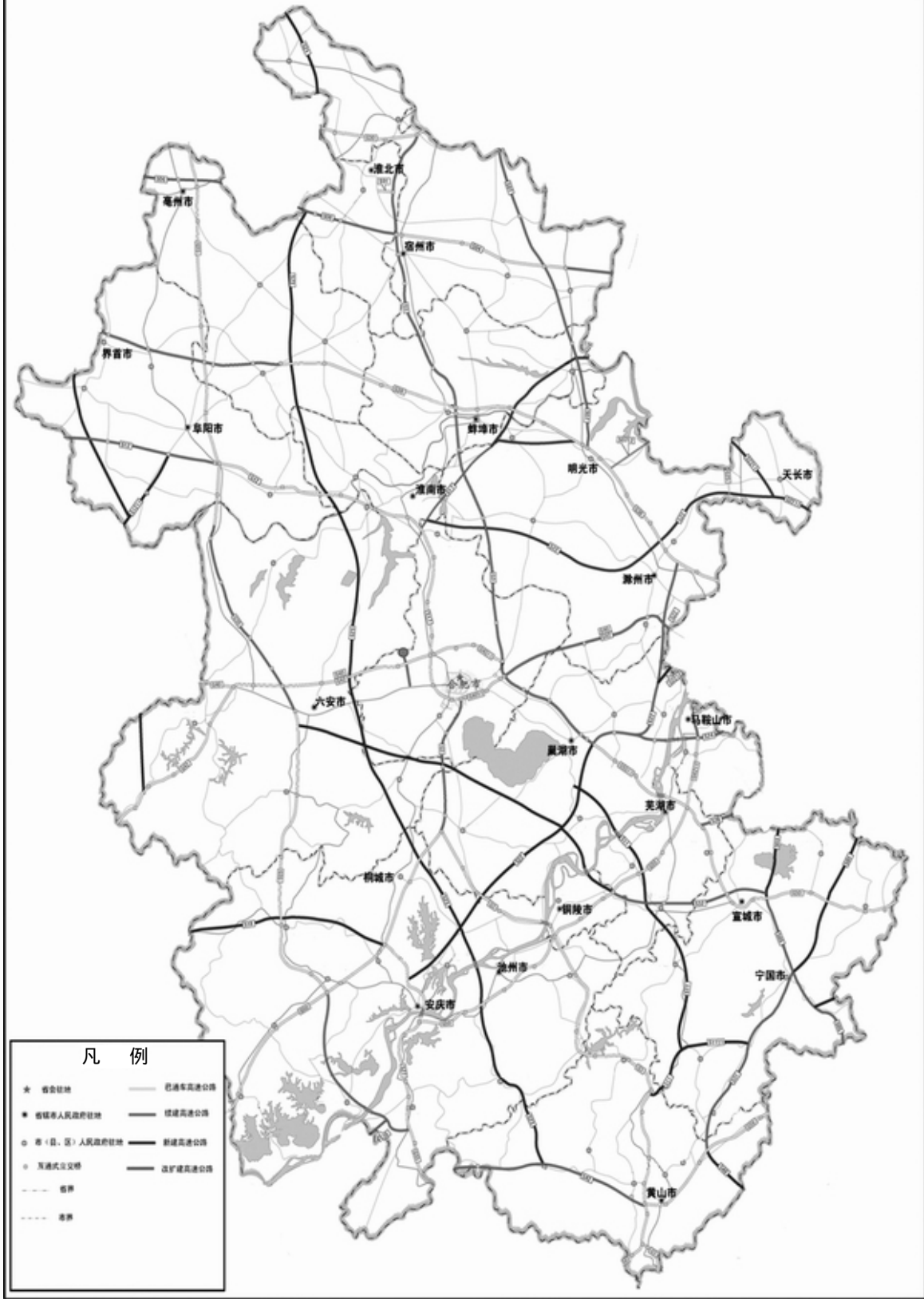
◆水運。建設継続プロジェクト：蕪申運河、安慶港長風港地区、合裕線裕溪閘門、巢湖複線閘門、沙潁河阜陽閘門など。建設開始プロジェクト：長江・淮河本流整備、合裕航路、秋浦河、漳河、青山河、姑溪河、沙潁河、石門湖、水陽江、派河、店埠河などの航路、和県鄭蒲港など。事前検証プロジェクト：澮河、滁河航路整備。

◆飛行場。建設継続プロジェクト：合肥新橋国際空港、池州九華山空港。建設開始プロジェクト：蕪湖民航空港、安慶民航空港、いくつかの一般空港。事前検証プロジェクト：蚌埠民航空港、亳州民航空港、黄山空港のグレードアップ改造。

安徽省鐵道網



安徽省第 12 次 5 年計画高速道路建設予定図



第二節 エネルギー保障能力の強化

節約優先・多元的发展・環境保護という基本方針を堅持し、エネルギー発展方式の転換を軸として、経済社会のエネルギーの調和のとれた発展を計画し、資源の開発利用と省エネや環境保護を調整し、エネルギー技術の自主革新能力を強化し、従来のエネルギーの生産・利用方法の変革を推進し、新エネルギーと再利用可能なエネルギーの開発利用を進め、経済社会の発展のために安全かつ安定した、経済的でクリーンなエネルギー供給を保障する。

石炭。淮北・淮南の大型石炭基地建設を継続する。安全・効率・産量に優れた立坑 17 対を建設し、一群の大中型立坑の改良や拡張を進めて、年産 4000 万トン以上を増加させ、2015 年までに淮北・淮南の石炭基地全体の規模を年産 1.8 億トンとする。石炭産業のグレードアップと安全改造を進め、石炭回収率と資源の総合利用レベルを向上させ、採掘沈下地区の生態系対応を強化する。蕪湖港の石炭貯蔵配送センターを建設し、銅陵石炭貯蔵配送センターの建設を計画する。石炭企業の省外・海外での石炭資源開発を後押しする。

電力。大容量・高パフォーマンス・環境保護型の一群のモーターユニットを高い標準をもって建設し、第 12 次 5 カ年計

画中の電力需要増加に応える。「安徽省の電力を東へ送る」プロジェクトの二期工程実施を開始する。熱と電気の複合生産による都市への熱供給を積極的に推進し、エネルギー消費が大きく汚染が大きい、分散型で低効率の小型ボイラーと置き換える。電力増加容量は2000万キロワット前後となる。特別高圧と500キロボルト電力網を骨格とし各級電力網の調整から発展したスマートグリッドを建設し、淮南-皖南-浙北-上海や淮南-南京などの特別高圧送電変電プロジェクトを開始し、220キロボルト電力網の建設と改造を強化し、新しい都市電力網の建設とアップグレードを完了させ、配電網の電力供給能力と安全性・信頼性を大きく高める。

天然ガスと製品油。江南連絡線、宣城-寧国-黄山支線などの都市間長距離輸送パイプラインを建設し、天然ガスの大型ステーション、小型ステーションの建設を進め、2015年までに省内の全市全県をカバーし、天然ガス使用量を年間50億立方メートルとする。製品油の省レベル輸送パイプライン建設を進め、安慶-合肥-淮南-阜陽-亳州、安慶-池州-銅陵-蕪湖-馬鞍山の製品油輸送ラインなどの建設を計画し、省全体をカバーする製品油パイプラインの初期的なネットワークを形成する。石油ガスの備蓄調整ステーション建設を強化し、安徽省製品油緊急備蓄庫、大型液体天然ガス備蓄ステーションの

建設を計画する。試験的に天然ガス分散型エネルギーを普及させる。炭層ガスの採取と利用規模を拡大し、シェールガスの探査・開発を加速する。

新型エネルギー。原子力発電を強く推進し、蕪湖繁昌原発一期工程の工事を開始し、池州吉陽原発、安慶高温ガス冷却炉工事の早期開始を目指す。風力資源に恵まれた河岸や湖岸、長江と淮河の分水嶺などの地区に、大中型の風力発電所を建設する。太陽エネルギー資源開発を進め、開発区と一体に集めた建設を重点として、「金の太陽モデルプロジェクト」を実施し、太陽エネルギー都市モデルづくりを進める。わら資源が豊富な穀物・綿花・油糧植物の主な生産地区およびエネルギー森林基地のバイオエネルギー発電プロジェクトを後押しし、都市生活ゴミによる発電の発展を支援する。水力利用を開発し、響水澗と佛子嶺の揚水発電所を完成させ、績溪揚水発電所の建設を開始する。地熱資源利用を積極的に開発する。省管轄市での新エネルギー自動車向けの急速充電ステーションや天然ガスステーションなどのサービス施設建設を計画する。一群の国家グリーンエネルギー県（郷）を設定する。

第三節 水利保障能力の向上

洪水防止と浸水対策、水供給の能力向上を重点とし、水環境の保護と改善を計画し、全面的な小康社会に適した現代的な水利支援体制を構築する。

洪水防止・浸水対策と灌漑。新たな一連の淮河治水工事を強力に推進し、長江本流の浚渫と主な支流の整備を進め、長江流域の防水堤の整備を行う。下澣山・月潭・湯村などの大中型ダム計画の実施を目指す。中小河川の整備と山崩れ地質災害の防止を強化し、ダムや計画内の大中型閘門で問題のあるものの補強工事をほぼ完成させ、都市の洪水防止工事をさらに強化し、灌漑排水工事を推進する。2015年までに淮北大堤防および淮河沿岸の洪水防止重点都市圏堤防の洪水防止能力を100年に1度の規模対応にまで高め、長江本流の主要堤防を1954年型洪水に対応可能なレベルに、省管轄市都市の洪水防止能力をほぼ50～100年に1度のレベルにまで高める。新安江本流および長江と淮河の主要支流の重点地区の洪水防止基準を5～10年に1度のレベル、淮河沿いの重点平原・窪地の排水基準を全体で5年に1度レベル、一部は10年に1度レベルとする。河川沿いの1万ムー以上の堤防内低地では排水基準を10年に1度レベル以上とし、排水実施面積を150万ムー純増加させ、排水改善面積を1500万ムーとする。灌漑面

積を 300 万ムーの純増とし、灌漑改善面積を 2000 万ムーとする。

水資源配置の改善。水資源の開発利用を計画的に実施し、長江の水を淮河（や巢湖）に引く「引江濟淮」プロジェクトなどの工事を推進し、空気中の水資源の開発により力を入れる。都市の水源地の整備と保護を強化し、重点都市の緊急用水源工事の実施を進め、都市の水供給の安全を保障し、穀物の主要生産地の水資源環境をさらに向上させる。2015 年までに省全体の年間水供給能力を 50 億立方メートル増やし、農村人口の水の安全の問題をほぼ解決する。都市の基本的な緊急水源保障体制を打ち立て、郷鎮の水供給能力を高める。

水環境の保護。河川や湖沼の水環境の整備を強化し、農村の河川や水路の浚渫の歩調を全面的に早め、小流域の総合管理・斜面耕地の総合整備・斜面崩壊対策を進めて、土壌流出抑制面積を 1650 平方キロ増やす。大別山区などの水源地の保護を強化する。2015 年までに主な河川や湖沼の水機能区の水質基準到達率を 70%にまで高め、都市の主な水源地では 95%以上とする。

コラム 6 重要な水利プロジェクト

◆新たな一連の淮河治水工事。淮河本流の洪水時流路・貯留区域整備および河川敷住民の移転プロジェクトを実施し、淮河の重点平原低地整備工事や、董峰湖・寿西湖・方邱湖・臨北段・花園湖・香浮段といった排水・貯留区域の調整と改造、淮河流域堤防の基準達成、淝河・史河などの流路整備工事などを推進する。

◆長江主流・支流整備工事。青弋江分水路・滁河・水陽江下流の洪水防止対策、長江の堤防崩壊緊急対策などの重点プロジェクトを実施する。巢湖周囲の堤防の補強、崩壊対策および重要支流の流路整備を実施する。皖河と他の重要支流、中小河流の整備などを行う。

◆灌漑排水工事。淝史杭・駟馬山といった大中型灌漑区域での付属施設の建設継続と節水改造工事、長江沿い低地の排水ポンプステーション工事、大型排水灌漑ポンプ更新改造工事などを実施する。

◆ダム建設工事。下潁山・月潭のダム工事を実施し、江巷・揚溪源・糧長門・湯村・泗洲湾などの大中型ダムの事前業務を行う。17の中型ダム、304の小(1)型ダム、1500の小(2)型ダム、問題がある173カ所の閘門について、補強と安全対策を完了させる。

◆水資源配分工事。「引江濟淮（引江濟巢）」プロジェクトを推進し、淮河の水の北部・阜陽・亳州への引き入れ工事などの実施について検討し、淮河沿岸と石炭採掘沈下地区の水資源利用プロジェクトと大別山飲用水保護プロジェクトを計画し、合肥・蚌埠・淮南・阜陽・巢湖・滁州などの都市の緊急水源工事を進める。

第四節 情報化レベルの全面的向上

情報インフラを強化する。既存の情報ネットワーク性能の向上に力を入れ、3Gなどの無線ブロードバンドネットワーク構築を積極的に推進し、テレビ放送網のデジタル化と優先ネットワークへの移行を進め、県以上の都市では有線デジタルテレビ・モバイルマルチメディアテレビのカバリングと有線テレビとの全体的な転換をほぼ完了させ、「電話・テレビ・コンピュータのネットワークの融合」を着実に進め、次世代情報インフラの整備を積極的に行い、ネットのカバー率とアクセス能力を継続的に高め、情報セキュリティの保障レベルを向上させる。2015年までに、省全体の有線デジタルテレビ利用者を400万戸、電話利用者普及率を100人あたり80台以上とする。

社会の情報化促進。電子政務ネットワークづくりをさらに推進し、省・市・県（市・区）、郷鎮（街道）のネットワーク接続を実現し、政府各部門のネット上での共同事務処理を後押しし、意思決定情報資源のクラス別共有を実現する。各級政府のポータルサイトの機能を絶えず向上させ、政務公開とネット上での手続きを推進する。地理・人口・金融・税收・統計・国防動員などの基礎情報資源の開発利用を進める。ITのコミュニティーサービス・文化・教育・衛生・就職や社会保障・治安総合管理といった分野への応用を積極的に推進する。

第四篇 「三農」の現代化を推進し、社会主義新農村を建設する

農業・農村・農民の問題の解決を最重要な課題として、農業の発展方式の転換を進め、工業化・都市化の発展の深化に合わせて農業を現代化し、農業の産業化・農村のコミュニティー化・農民の現代化という3つの点で現状を打破し、農業の総合生産力・耐リスク能力・市場競争力を高め、ただ農業の規模が大きい省というだけでなく農業を強みとした省へ変化するよう促し、農民が幸せな生活を送ることができる環境をつくる。

第十章 現代農業の発展

第一節 農業の総合生産力の向上

高産量・高品質・高効率・エコ・安全といった要求に従い、農業構造を調整し、農産物の効果的な供給を保障する。農業インフラの建設を強化し、大中型灌漑地区の付属施設建設や排水灌漑ポンプステーションの更新改造を続ける。淮河沿岸の浸水しやすい低地の処置を進め、排水灌漑システムを整備する。農地の水利の建設を全面展開する。生産量が中低程度の農地の改造に力を入れ、耕地の質を向上させ、高標準農地の建設を進める。現代の農業産業技術の体系化を強化し、健全な新しい農業技術革新体制と水利基礎サービス管理体制を整備し、成果の実用化を早め、現代的種苗業を積極的に発展させる。農業科学技術の普及をさらに推進する。新型農機具の普及と使用を支援し、農業の機械化水準を向上させる。食糧の新規生産能力の計画を実施し、穀物生産量を 640 億斤（3200 万トン）とする。優れた農産物の地域的配置計画を実施し、新たな一連の副食品供給プロジェクトや牧畜水産業のグレードアッププロジェクトを推進し、施設農業や大規模養殖の発展を進め、農業生産経営の専門化・標準化・大規模化・集約化を促進し、2015 年までに肉・卵・牛乳の生産量を 630

万トンとし、水産物の生産量を 220 万トンとする。茶、桑、果物、漢方薬材料といった特色ある農産物の発展に力を入れる。林業の発展を進め、拠点建設を強化し、アブラツバキ・胡桃・竹・ポプラ・苗木花卉産業の発展に力を入れ、農地の総合防護林やグリーンコリドールの建設レベルを向上させる。エコ農業や観光農業を積極的に発展させる。農業開墾の現代農業確立の歩みを早める。

第二節 農業の産業化推進

農業産業化の「671」転換倍増プロジェクトを実施し、総量増加・ブランド育成・クラスター発展という方向性に従って、農業産業化のモデル地区をつくり、全国的な重要性を持つ農産品加工基地づくりを進める。先導的企業と農民とが密接な利益によりつながるような体制づくりを後押しする。農民の専業合作組織の発展を支援し、2015 年までに 3 万を目指す。

第三節 新しい農業の社会的サービス体系の確立

公益的な職能強化と経営的サービス活性化の要求に従い、新しい農業の社会的サービス体系構築を進める。供給販売合作社・農民専業合作社・専業サービス企業・専業技術協会・農民代理人・先導的企業といったさまざまな形式の生産経営

サービス提供を支援する。農村の流通体制、農産物の市場体系、農村の情報化総合サービス体系を健全化し、農産物の現代的な流通方式を発展させ、新しいネットワークプロジェクト・「2つの百」市場プロジェクト（100の大型卸売市場と100の農産物大型流通企業への支援）・穀物の現代的物流プロジェクト・生鮮農産物コールドチェーン物流システム・チェーン経営型農村ショップ・配送センター建設を推進する。農産物の品質安全検査測定と監督管理体制を健全化し、農産品の品質安全水準を向上させる。基礎的な農業技術の普及、水利技術サービス・動植物の防疫体制づくりを進める。農村金融・政策性保険・情報サービスを強化する。

コラム7 現代農業重点建設プロジェクト

◆現代農業モデル地区建設プロジェクト。施設や装備の強化・科学技術水準の向上・主導的産業の発展・新たなタイプの農民の育成・農業経営体制の刷新メカニズムを重点として、省全体に80カ所の現代農業モデル地区を設定し、第12次5カ年計画終了までに各農業県（区）に1つのモデル地区設置を目指す。

◆農業公共サービス能力向上プロジェクト。郷鎮や地域での農業技術の普及・動植物の防疫管理・農産物品質の監督管

理といった農業公共サービス体系のインフラづくりを全面的に完成させ、公共サービスの能力を高める。

◆農民組織化プロジェクト。各種市場主体による合作経済組織づくりを後押しし、第12次5カ年計画末時点での農家の加入率を50%以上とする。モデル合作社を4000まで増やし、うち省級のモデル合作社を500とする。

◆穀物生産能力向上プロジェクト。穀物生産能力計画を実施し、高標準農地をつくり、穀物の「三大行動」を推進して、小麦・とうもろこし・水稻の高産量目標中心地区2000万ムー・500万ムー・1000万ムーを建設する。「収量1トン農地モデル県」および高産量創出活動を実施し、穀物の総合生産能力を高める。

◆牧畜業グレードアッププロジェクト。3万カ所の大規模なブタ・乳牛・肉牛・羊・家禽養殖場（地区）設置を支援し、動物の防疫体制づくりを強化する。

◆水産業ジャンプアッププロジェクト。水産業が盛んな県を30県設定し、200の水産健康モデル養殖場を設定する。養殖池100万ムーの改造や修繕を行う。

◆新たな一連の副食品供給プロジェクト。50万ムーの大規模施設野菜生産基地を毎年増やし、第12次5カ年計画末には施設野菜栽培面積500万ムー、野菜の総生産量3500万トンとする。

◆茶産業振興プロジェクト。26県（市・区）に30の茶葉生産標準茶園を設置し、10万ムーに良い影響を与え、挿し木良種茶園の全省の茶園に占める比率を40%に高める。

◆農業産業化「671」転換倍增プロジェクト。農業の産業化・産業転換・技術革新を推進し、農産物加工の先導的企業クラスターの発展を推進し、60カ所の年間生産高50億元以上の省級農業産業化モデル地区の設置を重点的に行い、農産物加工生産高7000億元を実現し、農民のひとりあたり所得を1000元増加させるようにする。

◆農業情報化プロジェクト。市・県をカバーする農業情報監視警報情報システムの設置を重点的に行い、農業情報サービスステーションを末端まで広げ、郷鎮の100%、行政上の村の50%以上、大規模な先導的企業の100%、農民專業合作社と農産物栽培大規模農家の60%に達するようにする。

◆穀物の現代的物流プロジェクト。省内の穀物の現代的物流中心倉庫や地域的穀物卸売市場、さらに合肥・阜陽・蕪湖・蚌埠・宿州・滁州・安慶の七大穀物物流糧食物流ポイントを重点的に設置する。

◆農業機械化推進プロジェクト。新型農機具の普及を支援し、特にトウモロコシ・アブラナの収穫と水稻の田植えの機械化を重点とする。わらの機械粉碎によるすき込みを扶助する。

第十一章 新農村建設の加速

第一節 農村のコミュニティー化の順次推進

耕地の保護・農民の意志尊重・農民の権益保障という要求に厳しく従って、村や鎮、新型農村コミュニティーおよび土地整備の合理的な計画を作成し、国の農村土地整理全村推進パイロット省の実施をしっかりと進め、土地の整理と新農村の建設とを結合し、村の合併・新たな居住区設置・土地回転を計画的に実施し、各種農業関連資金とプロジェクトを集めて組み合わせ、「千村百鎮」モデルプロジェクトの実施を推進して、高い基準で新型農村コミュニティーづくりを行う。

第二節 農村の生産環境・生活環境の改善

農村公道の建設を強化し、農村公道の管理維持責任を明らかにし、都市と農村の旅客交通一体化を推進する。農村の水道普及率をさらに向上させる。新しい一連の農村電力網グレードアップを実施し、経済的・上質・安全な新しい農村の電気供給体制を構築する。農村の家庭用メタン・大中型メタン・集中ガス供給プロジェクトを進め、太陽エネルギー・バイオエネルギー・わらの利用・小規模水力発電・風力といった再生可能エネルギー技術を普及させる。農村の老朽化した住宅の改造を進める。農村環境の総合整備を推進し、農村クリーンプロジェクトを実施し、村の自然な生態を保護し、水道・台所・トイレ・畜舎の改造を進め、農村ゴミの輸送処理体制を確立し、農村の居住環境を改善する。

第三節 農村発展のための社会事業の加速

農村の就学環境を改善し、農村の就学前教育の普及レベルを向上し、義務教育無料政策と経費保障体制を整備し、農村の中等職業教育の発展に力を入れるとともに、徐々に無償化を進める。新しい農民研修プロジェクトを実施し、専門的な技術研修と農民の創業研修を重点として、農村の実用的人材研修・農民の職業技能研修・新しい農民の技術研修を積極的に実施して、5年間でのべ365万人に研修を行う。農村の医療

衛生サービス体制づくりを強化し、新型の農村合作医療制度を強化発展させる。農村の公共文化サービス体制を整備する。農村の郵政インフラ建設を強化し、郵政のユニバーサルサービス均等化を促進する。農村の社会保障レベルと土地を収用された農民に対する保障のレベルを高め、農村社会の基本養老保険・最低生活保障・特別困窮グループ向け援助といった制度を整備する。

コラム 8 新農村建設の重点プロジェクト

◆「千村百鎮」モデルプロジェクト試験スポットで得られた成果を基礎として、さらに試験範囲を広げ、省全体の新農村建設の健全で安定した発展を促す。

◆長江・淮河分水嶺総合整備開発プロジェクト。農業生産環境を主眼とした三大プロジェクトをひき続き実施する。第12次5カ年計画期間中、大中のため池3000カ所以上の建設や改造・拡大を行い、中低生産農地300万ムーを改造し、灌漑面積を100万ムー増やす。

◆農村飲料水安全プロジェクト。2000万の農村人口の飲料水安全プロジェクトを再度実施し、農村人口の飲料水の安全問題をほぼ解決する。

◆農村電力網改造アップグレードプロジェクト。農村の電力網を全面的に改造し、農業生産用電力の問題を基本的に解決し、経済的・上質・安全な新しい農村の電気供給体制を構築する。

◆農村新エネルギープロジェクト。一群の農村家庭用メタンプロジェクト・養殖地区と関係家庭メタンプロジェクト・農村サービス網プロジェクト・養殖施設大中型メタンプロジェクトを重点的に進める。適切な地区では、太陽エネルギー・小規模水力発電・風力・バイオマス固形燃料などのクリーンエネルギー技術の普及を積極的に進める。

◆農村緑化プロジェクト。グリーンホームモデルプロジェクトと「すべての村を緑に」活動を展開し、2015年までに、平原・丘陵・山地の村の緑化率をそれぞれ65%、50%、30%とすることを目指す。

◆農村文教衛生プロジェクト。義務教育段階の学校経営環境の標準化、農村の中小学校校舎の安全性強化、寄宿学校、郷鎮中心校、農村留守児童活動センターなどの設置を進める。一群の農村職業学校の国家級・省級モデル創設を支援し、いくらかの郷鎮衛生院や村衛生室の設置を扶助する。2015年までに、各県に文化館と図書館を、各郷に総合文化館を、行政

上の村に文化活動室を設けることを目標とし、各郷鎮に公立幼稚園を設置する。

第十二章 農村発展体制の刷新

第一節 農村の基本的な経営制度と管理制度の整備

家庭請負経営を基礎に、集団制と個人制を組み合わせた経営体制を堅持する。集団経済組織の力を高める。農村の土地の権利確認・登記・証書発行を推進する。農民が法律に従いながら土地流通への協力を自発的に有償で行うよう促し、專業大規模農家・農民專業合作社・家庭農場といった一定規模以上の経営主体を發展させる。農村の土地整理をしっかりと推進し、農村の集団建設用地流通と住宅用地管理制度を整備する。土地収用制度改革を推進し、収用補償制度を整備する。郷鎮政府の職能轉換を進め、住民サービス全プロセス代理制を進める農村の管理体制を整備し、「一事一議籌資酬勞弁法」（註：公益費を大まかに一括徴収するのではなく、一件ごとに検討の上徴収し、報酬を決めるやり方）を健全に実施して、農村の公益事業実施のための長期的に有効で健全な体制とする。村民自治の制度化、標準化、定式化を推進する。

第二節 林業権制度改革の推進

集団的林業権制度改革を進め、農民が下請け・リース・交換・譲渡・資本参加・合作などの方法で林地請負経営権と林地使用权を流通させるよう促す。規範化された林業権取引市場を設置し、林業社会サービス体制を整備する。国有林の改革モデルを積極的に検討する。森林伐採管理制度改革を急ぎ、林業総合執行管理体制改革をさらに進める。

第三節 農業支援保護制度の整備

農業助成制度を健全なものとし、範囲を拡大し、標準を高くする。農産物の価格保護制度を健全化し、穀物の最低購入価格を徐々に引き上げる。都市農村間の平等な物品・サービス交換関係を整備し、土地の値上がり益と農村の預金を主に農業や農村に用いるよう促進する。農村金融・政策性保険・情報サービスの体制づくりを強化する。農業発展の財政保障レベルを全面的に引き上げ、財政の農業への投入比率が毎年上がるようにする。

第五篇 アドバンテージを十分に活用し、都市と農村の調和のとれた発展を促進する

第十三章 都市化プロセスの加速

第一節 現代的都市体系の構築

都市と農村の両方を考慮しながら、理にかなった配置で、土地を節約し、都市発展の法則に従い、合理的な都市化発展計画を制定し、省全体の都市の空間的配置を改善し、中小都市を中心とし、中小都市と鎮クラスの集落を基礎とする現代的な都市体系の形成を進める。

中心都市の発展に力を入れる。中心都市の発展、都市機能の向上を現段階の都市化推進における最重要任務とする。合肥の全国省都内での地位向上を支援し、全国的に影響力を持つ、地域のメガロポリスとするよう努める。蕪湖を省内の第二中心都市とし、長江沿いの現代的大都市づくりに努める。蕪湖と馬鞍山の一体化・銅陵と池州の一体化・長江兩岸の連動発展を進め、長江南北の江北・江南産業集中地区とともに現代的な河川沿いの都市圏としての開発形態を構築し、長江流域に大きな影響力を持つ現代的都市群づくりに努める。安慶・蚌埠・阜陽を皖西南・皖北・皖西北地域の地区中心都市とする。黄山市の国際的な旅行文化都市づくり、現代的サービス業の基地化を促進する。馬鞍山・銅陵・淮南・淮北などの資源型都市の転換の歩みを早め、産業の継承や代替を積極的に進め、新しいコンピテンシーを形成する。他の都市がア

ドバンテージを十分に発揮するよう支援し、都市機能を整備し、受入れ能力と影響力を高め、それぞれが特色を持つ大中市へと発展させる。調査研究を進め、適切なタイミングで適度に行政区画を調整し、合理的な都市空間配置を促進する。

県城と重点鎮の発展を進める。県城と基本条件が整った中心的な鎮の質と規模の向上を支援し、都市と農村をつなぎ、農村の益となる重要な拠点とする。条件のそろった県城が、市の設置規模と標準に従って発展を計画するよう後押しし、特色ある中小都市となるようにする。条件の良い重点鎮の発展を扶助し、周辺の農村発展を先導する能力を高める。2015年までに、省全体で24の人口20万以上の中小都市をつくり、人口10万人以上の鎮級市を6カ所ほどつくる。

コラム9 省管轄都市の位置づけ

◆合肥経済圏 合肥市：活力に満ち、独自の魅力を備え、居住にもビジネスにも適した現代的な湖岸の大都市として、全国的な重要性を持つ現代的な産業基地兼総合交通拠点に建設し、国内に大きな影響力を持つ、地域のメガロポリスを目指す。

淮南市：合肥との一体化を推進し、全国的な重要性を持つエネルギー基地、省内において重要な石炭電化と鋁山機械製造基地として発展させ、美しい風景と生態系を持つ淮河流域の重要な現代的大都市とする。

六安市：生態系と資源のアドバンテージを十分発揮し、農業副産品・鋁産資源の加工基地またレジャー観光の目的地として発展させ、大別山地区の中心都市、合肥経済圏と武漢都市圏とをつなぐ架け橋とする。

巢湖市：新型化学工業・設備製造・非金属材料産業の基地また巢湖周辺の観光基地として、美しい生態系を持ち、レジャーや居住に適した湖岸の都市づくりを進め、合肥経済圏と皖江都市ベルトとの重要な結節点とする。

◆皖江都市ベルト 蕪湖市：皖江地区の開発開放における先導役としての地位を強化し、全国的に重要な先進の製造業基地・現代的な物流センター・地域の総合交通拠点として発展させ、長江流域に大きな影響力を持つ現代的な河岸の大都市また省内第二の都市として発展させる。

馬鞍山市：蕪湖・南京の両方向の融合を推進し、先進製造業が集まる地区・都市農村一体化の先行地区・文明的で住みや

すいモデル地区として発展させ、長江デルタ経済圏において重要な新型工業都市また風景の良い公園都市とする。

安慶市：全国的な重要性を持つ石油化学/繊維産業基地・地域の総合交通拠点・ビジネス物流センターとして発展させ、長い歴史と文化を持つ現代都市、また皖西南地区を牽引し、安徽・江西・湖北に影響を広げる地域の中心都市とする。

銅陵市：世界の銅の都また国の電子素材産業基地として発展させ、革新的で環境にやさしく、幸福な現代的河岸工業都市とする。

池州市：新素材・新型化学工業の重要拠点また世界レベルの観光地として発展させる。銅陵との一体化を進め、共同で皖中南地区の中心都市となる。

滁州市：全国的な重要性を持つ家電・ソーダ工業・シリコン産業の拠点として発展させ、「131」大滁州都市圏の構築を進め、合肥経済圏と南京都市圏をつなぎ、皖東地区の飛躍的発展を先導する新興中心都市とする。

宣城市：長江デルタ向けの機械製造業基地、上質の農産物の生産・供給・加工基地、また観光地として発展させ、江蘇・浙江・安徽が交わる地区の中心都市とする。

◆皖北都市群 蚌埠市：地域の総合交通拠点の地位を固め、省全体ないしは全国的に重要な太陽光発電・バイオ・精密化学・設備製造の基地また現代的ビジネス物流の中心として発展させ、皖北地区躍進を牽引する成長点また皖北地区の中心都市とする。

阜陽市：地域の総合交通拠点化を強化し、新興エネルギーと石炭化学産業の基地・農業副産物加工基地・地区のビジネス物流センターとして発展させ、皖西北地域発展を牽引する地区の中心都市づくりに努める。

亳州市：全国的な重要性を持つ現代的な漢方薬産業基地・農業副産物加工および労働密集型産業基地・健康文化についての旅行の拠点として発展させ、安徽省・河南省の接する地区の新興中心都市とする。

淮北市：石炭電気化学・鋁山機械設備製造・農業副産物加工基地として発展させる。オープンで革新的な影響力を持つ、居住とビジネスに適した風景の良い公園都市とする。

宿州市：省全体として重要な石炭電気化学産業・繊維・農業副産物加工産業基地として発展させ、江蘇・山東・河南・安徽の四省が接する地区の新興中心都市とする。

◆黄山市 地域の総合交通拠点として、皖南国際旅行文化モデル地区の中心としての地位を強化し、世界的な観光地・全国的に重要なレジャー産業都市・展示会センターとして発展させ、特色ある現代的な国際観光都市づくりを進める。

第二節 都市計画建設の管理水準向上

都市計画の水準を向上させる。計画コンセプトを刷新し、高いレベルで都市体系計画と管理用詳細規定を策定し、省全体の都市・農村計画の末端までのカバーを目指す。経済社会発展の全体的計画に従うことを前提にしながら、都市計画と地域計画、村鎮計画、土地利用総合計画、重要インフラ建設計画とを連携させる。計画の実施管理を強化し、計画の作成や変更は法律に厳しく従う。

都市の総合的受入能力を高める。長期的な発展を視野に入れつつ、地下設備を優先し各種機能が整備された都市づくりという要求に従い、給排水・暖房・ガスなどの市政インフラづくりをとりまとめ、都市の地下空間資源の合理的な開発と利用を進める。都市の汚水・生活ゴミ処理施設と地下パイプ網の一体化を推進する。都市の総合交通整備と緊急体制づくりを強化し、洪水対策・消防・地震対策・気象などの公共の安全施設を整備し、ショッピングセンター・学校・医療機関・

文化体育施設といったサービス施設を合理的に配置し、歴史・文化と自然の生態を保護しながら、特色ある文化をつくり、都市の品位を向上させる。都市の浄化・緑化・街灯整備・美化プロジェクトの実施に力を入れ、清潔で秩序だっており、気持よく調和のとれた、職・住・レジャーに適した都市環境づくりを積極的に行う。「大都市病」（公害・住宅問題など）の予防と処置を行う。

都市管理を強化する。都市の管理レベルとサービス機能の向上に力を入れ、法律による長期的な管理体制を積極的に取り入れ、都市管理の現代化を進め、さらにヒューマンな管理方式づくりを進める。市政インフラ運用の維持と管理を重視する。「デジタルシティー」づくりを進め、文明的な都市づくりのための活動を展開し、調和のとれた文明的な都市をつくる。

第三節 条件を満たす農村人口の都市住民化促進

戸籍制度改革をさらに進め、条件に適合する農村人口の都市住民化を漸次実施し、都市への移転条件をさらに緩和する。都市に移動した農民の就業・住宅・社会保障・教育・医療といった面の主な問題の解決を様々な方法やルートで進め、制度的な障害を取り除き、合法的な権利を保障する。土地政策

と戸籍政策との連携を強め、「農民が土地を国に返還するに当たっては、その自由意思を尊重し、各種の政策的バックアップをする」という原則に従い、法律に従って順序良く農村の土地使用権の移転を指導し、農民の都市入りのためにさまざまな方法を検討する。

第四節 都市農村一体化の着実な推進

都市インフラを農村へと広げ、都市の優れた公共サービスが農村までカバーするようにする。合肥・蕪湖・馬鞍山・銅陵・淮南・淮北の各市は都市農村一体化総合セット改革試験スポットを完成させ、率先して都市農村計画・産業発展・インフラ・公共サービスといった点での一体化を進め、土地は大規模経営に、工業は工業パークに、人口は都市に集まるように促す。条件の整った市・県で試験スポットを積極展開する。まだ条件の整っていない市・県では計画を策定し、順次実施する。

第十四章 地域発展の総合計画

第一節 皖江都市ベルトの先行発展

「一年で基礎を固め、三年で成果を出し、五年で大きく発展する」という方針と「1本の軸、2つの核と2本の翼」とい

う戦略配置に従い、先行の強みを十分利用し、体制・公共サービス・地域協力などの点で大胆な革新を進め、安徽省の戦略的発展の場とし、経済構造の調整や自主革新の面で省全体をリードする。

全国的な重要性を持つ先進的な製造業と現代的サービス業の拠点とする。産業の移転を大規模かつ高レベルで進め、牽引力が強く、技術水準の優れた重要プロジェクトを積極的に導入し、自主革新の歩みを進める。自動車・設備製造・原材料・繊維・ハイテク産業の基地と皖江物流産業ベルトをつくり、戦略的新興産業の育成に力を入れ、金融・文化・旅行などの現代的サービス産業を向上させ、業界を先導する企業や世界的なブランドを大きく育てる。

産業の受入れの場を整備する。長江南北に高水準の産業集積地区をつくり、産業移転の受入れモデルの「窓」とする。皖江地区 10 市のモデルパーク建設を支援する。既存の開発パークの拡大やアップグレードを推進し、一群の省級開発区の建設を準備する。パークが連携した共同建設を後押しする。10 の千億元クラスを中心パーク、50 の百億元クラスの特徴あるパークの育成を進める。

支援環境を強化する。総合輸送ルートづくりを急ぎ、長江沿岸ラインのリソースを順次開発し、港湾建設を強化する。洪水・浸水対策を改善する。エネルギー保障と情報化サービス力を高める。各種ハイレベル人材を積極的に導入し、技術型人材の育成を進め、在校人数 85 万人の職業教育拠点をつくり、モデル区域の人的資源の必要に応える。創業投資および株式投資基金を発展させ、財産権取引市場をつくり、保険資金を重要プロジェクト建設に仕向け、金融支援体制を整備する。地域の通関速度を向上し、検査防疫サービスを整備する。

美しい自然環境を創造する。厳しい産業参入基準を実施し、資源の利用に当っては集約と節約を進める。すなわち循環型経済試験地や低炭素パーク試験地を支援し、長江防護林・巢湖流域水環境総合整備といった環境保護や生態系づくりの重要プロジェクトを実施し、資源節約型で環境にやさしい社会の先行地区とするよう努力する。

第二節 皖北地区の発展の加速

基礎を固め、点から面へ、重点を突破するという考え方に従い、皖北地区に適した発展の道を探り、経済成長速度が省内平均以上のレベルとなることを目指し、基本的な公共サー

ビスレベルを大きく向上させ、生活水準を大きく高めるよう努力する。

工業化プロセスを加速する。エネルギー資源・農業副産物・労働力といった資源の強みを活用し、皖北地区の炭坑坑口発電所の建設などエネルギー関連の重要プロジェクトを優先的に支援する。石炭電気化学工業、設備製造、食品工業の基地作りを進め、ビジネス物流や現代漢方薬産業の発展に力を入れ、シリコン・鉄鋼・繊維服飾などの産業を強化し、循環型経済を積極的に発展させる。2015年までに、設備製造業・食品工業・石炭化学工業・漢方薬産業の生産高一千億元以上を目指す。

都市化プロセスを加速する。できるだけ早く蚌埠・阜陽を皖北・皖西北地域の中心都市とし、淮南・淮北・亳州・宿州などの都市の受入れ能力と先導能力の強化を支援し、2015年までに半分以上の県都に人口20万～50万人の中小都市を建設し、都市の計画・建設・管理のレベルを大きく向上させる。

農業現代化を加速する。淮河沿い低地の整備と中低程度の生産力の農地の改良を強化し、一群の現代農業モデル地区を建設し、農業構造を改善し、牧畜業と高産量高効率の経済作物栽培の発展に力を入れ、農産物加工を推進し、穀物の主要

産地としての地位を固め、農産物の生産・加工・供給の重要拠点づくりを進める。2015年までに、穀物生産能力を500億斤（2500万トン）以上にまで増加させ、畜産家禽産業の大規模経営割合が70%以上、農業副産物加工業の生産高3000億元以上を目指す。

インフラ建設を強化する。省外や地区外との鉄道およびエネルギーや原材料の輸送ルート建設を計画し、東西方向の高速道路4本と地域内の高速道路2本を完成させ、県や郷の公道改良を強化する。洪水時の流路や貯留区域の調整、淮河沿い堤防の強化、重要支流の整備を進める。石炭採掘沈下地区の処理を推進し、淮河防護林建設を進め、水資源の管理と水質汚染の防止を強化する。

政策支援の力を増す。皖北地区第12次5カ年計画発展計画の制定を進める。財政移転支払の増加を継続し、各種公共財政の皖北地区への投資を大きく増やす。金融業の発展に力を入れ、皖北地区の高リスクの県級農村信用聯社のM&A再編加速を契機として、金融機関のローン貸付の積極性を強化し、貸付額を増やし、預金/貸付率を高める。皖江モデル地区の政策とプラットフォームを利用した産業移転を支援する。連携協力を推進し、パークの共同発展を促進する。

第三節 合肥経済圏の一体化推進

合肥を全国的な影響力を持つ地域のメガロポリスとすることを筆頭に、地区間協力を深め、淮南との一体化を推進し、リソース配置を改善し発展エネルギーを集約して全体的なアドバンテージを形成し、経済圏を長江デルタ地域とつなげるようにして、全国的な影響力を持つ都市圏という定評を勝ち取る。

インフラの一体化を進める。高速旅客輸送専用線の建設を積極的に進め、合肥と周辺地区の都市間鉄道の建設を計画し、合肥鉄道ターミナル・新橋国際空港・通江航路の建設を進める。巢湖周回道路を建設し、国道 206・312 号の改良アップグレードを行う。市外局番統一を進める。

産業発展の一体化を進める。家電・自動車・設備製造など強みを持つ産業を中心としながら、中心的企業を先導に、地区ごとの分業協力を強化し、産業チェーンを整備して、合肥—淮南・合肥—六安・合肥—巢湖の工業回廊づくりを進め、新橋国際産業パークの協力連携を強化する。巢湖のレジャー、大別山の革命旅行、桐城・寿県の歴史文化といった旅行資源を開発する。全国的な重要性を持つ先進の製造業・ハイテク産業・現代サービス業・現代農業の基地作りを進める。

自然環境保護の一体化を進める。大別山の優れた水源を計画的に配置し、「引泉入城（大別山から合肥への給水）」などの地域的給水プロジェクトを進める。淠史杭・駟馬山などの大型付属施設建設と節水改造の実施を進め、地区の水源地保護を強化する。巢湖流域の水環境の総合整備の統一管理体制と調整機関を設立する。淮河の洪水時流路・貯留区域整備と石炭採掘沈下地区の総合処置を強化する。経済圏の生態保障制度を確立する。

市場体系の一体化を進める。統一市場体系の計画・実施・管理を強化し、大型の専門市場づくりを計画し、合肥産品大市場の建設を推進する。工商登記・食品薬品検査・消防安全などの分野の相互利用推進を加速する。一体化電子支払決算システムをつくり、市内決算・商業手形の集中取引を実現する。地区の人的資源と社会保障体制を統一的に計画し、競争力があり統一された生産要素市場の体制をつくる。

第四節 皖南皖西地区の発展促進

皖南国際旅行文化モデル地区づくりに力を入れる。皖南地区の旅行が持つ安徽地区・仏教・道教の文化的価値を十分に掘り起こし、「両山一湖（黄山・九華山・太平湖）」を中心とした旅行資源の開発と開放の範囲を拡大し、広く国内外の資

本の参与を引きつける。旅行インフラを整備し、外部から利用しやすいルートを構築し、バリアフリーな観光地づくりを進める。旅行業の産業チェーンを整備し、関連産業を強化し、エコ農業・エコ工業・現代的サービス業の大きな発展を促進する。黄山市による国家事業としてのサービス業総合改革試験地区業務を支援し、国連の最も住みやすい環境モデル都市を目指し、世界的な旅行観光地づくり、現代的なインベンションセンターづくりを進める。

皖西地区の開放と発展を促進する。交通・水利などインフラ建設を進め、省内外を結ぶ高速交通網を構築する。革命・生態系・地質などをテーマとした旅行やレジャー旅行を特色とする現代的旅行業を重点的に発展させ、エコ農業と製品の加工、原材料産業と機械製造業を積極的に発展させ、鉄鉱石・モリブデン・山地林業・旅行資源の開発にいっそう力を入れる。合肥経済圏を補完する産業、農産物生産供給、労働力輸出、レジャー基地の発展に力を入れる。

第五節 県域経済のさらなるレベルアップ促進

県域の経済社会管理権限をさらに拡大し、非公有制経済・工業パーク経済・特色ある経済の発展に力を入れる。県域内の産業集約と企業クラスターの発展を推進し、県域経済の発

展レベルを継続的に向上させる。試験的な鎮の権限拡大推進を継続する。社会事業と民生問題への投資を増やし、公共サービス力を高め、生産環境や生活環境を改善する。第12次5カ年計画末までに、省の全県域で地区GDPを1兆元以上とすることを目指し、省の経済成長への貢献度をさらに強化する。

第六節 主体機能区の形成推進

適度な開発、集約的开发、調和のとれた開発、自然保護という理念を堅持しながら、省全体の人口分布・経済配置・国土の開発利用を統一的に計画することにより、経済と人口を開発に適したエリアへ集め、農業と自然環境の発展空間を守りつつ、都市化・農業の発展・生態の安全という三大戦略を構築する。資源や環境面で受入れ能力が高く、人口を集めることができ、経済条件が良い、都市化地域を重点的に開発し、工業化と都市化を大規模に推進して、経済と人口の集約能力を高め、発展を支える重要な成長の軸とする。農産物の安全供給を保障する農産品主産区では、農業の総合生産能力への投資を増やして大規模化と産業化を推進しながら、県都を重点として工業化と都市化を進める。全体的な生態系の安全に影響を与える重点生態機能区では、環境保護と環境修復にさらに力を入れ、開発は点状に、保護は面状に行い、資源や環

境を考慮に入れながら土地に合わせた特色ある産業を発展させる。各級各種の自然文化資源保護区およびその他特別な保護を必要とする区域については、強制的保護を法律で実施し、決定した主体機能配備（下記のコラム10参照）に適合しない各種開発活動を厳禁する。評価審査方法や財政・土地・環境などの政策体系を整備し、各地が決められた主体機能に沿って発展を推進するよう指導する。重点生態機能区と農産物主産区に対する移転支払いを強化する。主体機能区計画が持つ国土空間の開発の基礎また制限としての役割を十分に発揮させながら、項目ごとの計画や重要プロジェクトの配置、主体機能区計画の調整を行う。市県の空間計画を推進し、地区が主体となった機能づけを実現させ、機能区の配置を明確にする。国土空間の現状を監視また管理するシステムを整備する。

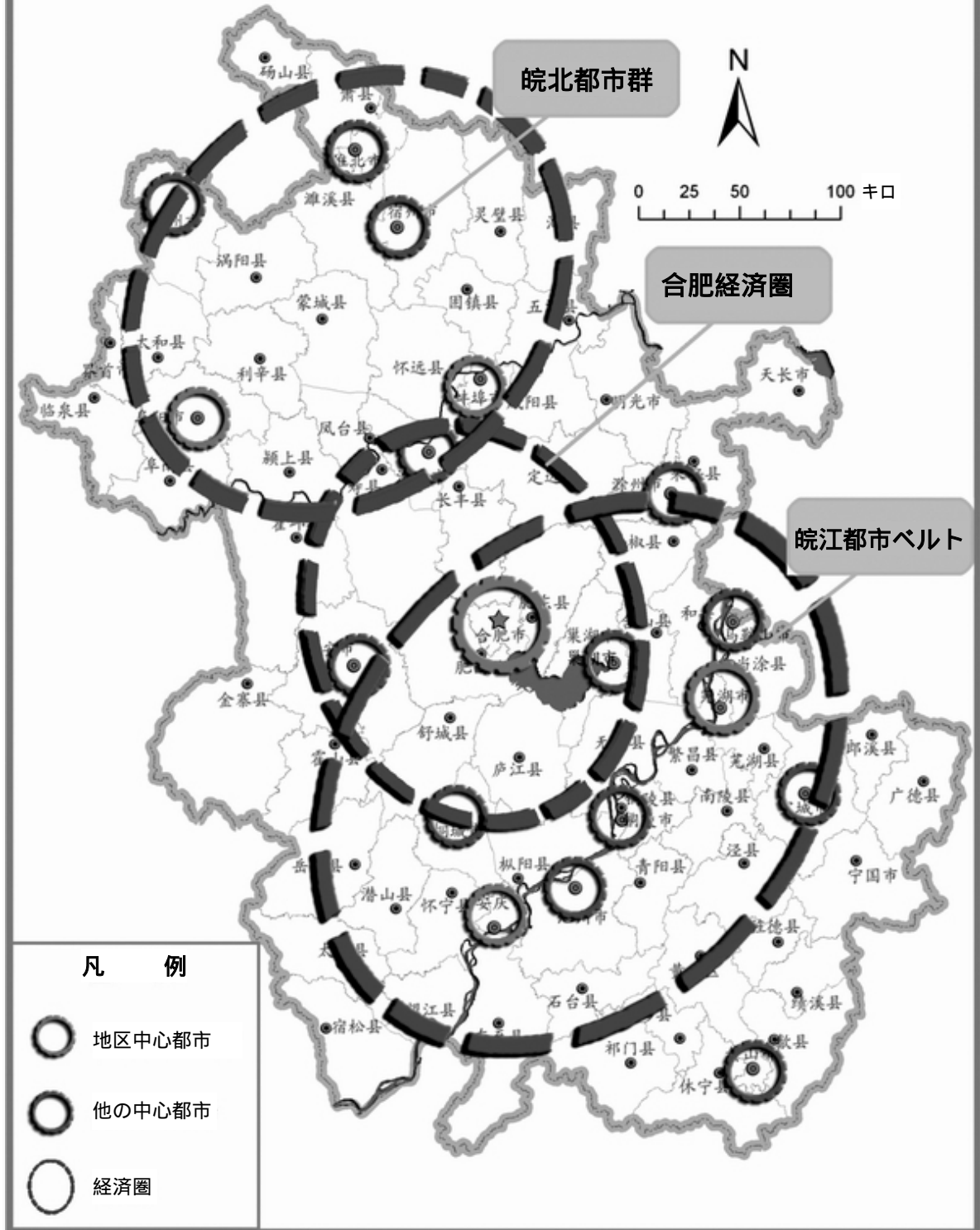
コラム10 主体機能区の三大戦略配置

◆都市化の戦略配置：「1ベルト1圏1群」、つまり皖江都市ベルト・合肥経済圏・皖北都市群。合肥・蕪湖・安慶・蚌埠・阜陽など地区の中心都市を重点的に発展させ、その他の地区は既存の都市を中心として発展させる、拠点型の開発を行う。

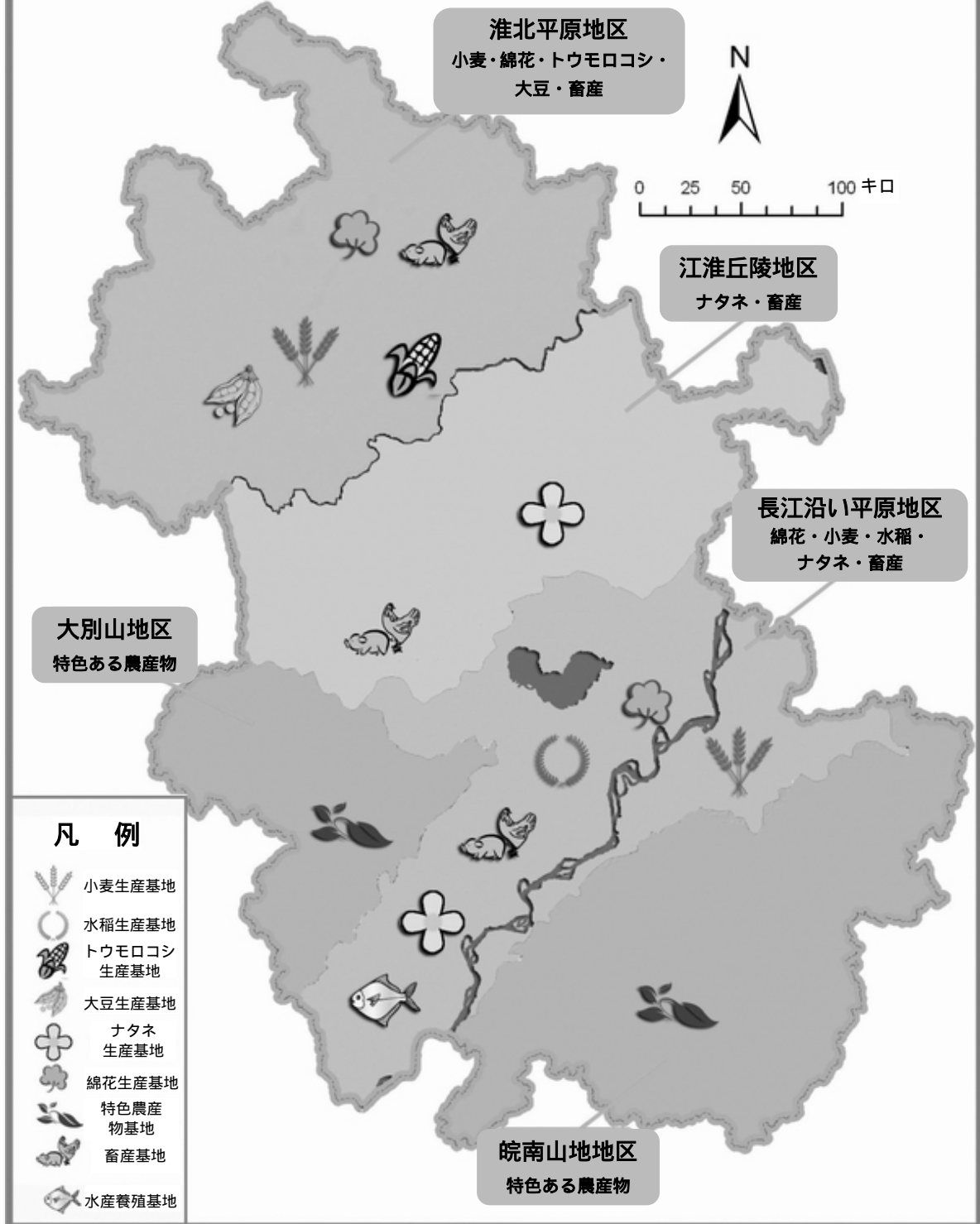
◆農業発展の戦略配置：「5区15基地」を目立たせ、淮北平原・江淮丘陵・長江沿い平原・大別山山地・皖南山地の各地区にある上質の穀物・綿・油・茶・家畜・家禽の基地を主体とし、基本農地を基礎として、その他の農業地区を重要組成とする農産物供給安全戦略配置。淮北平原地区には、上質の小麦・綿花・トウモロコシ・大豆の生産基地と家畜・家禽の養殖基地を設ける。長江沿い平原地区には、上質の水稻・小麦・綿花・ナタネの生産基地と上質の水産物・家畜・家禽製品の養殖基地を設ける。江淮丘陵地区では、エルカ酸とグルコシノレートの含量が低い上質のナタネ基地と、上質の家畜・家禽製品生産基地を設ける。皖南山地地区と皖西山地地区には、特色農産物の基地を設ける。

◆生態安全の戦略配置：「3つの障壁と3つのネットワーク」、つまり大別山地・皖南山地・江淮丘陵の森林生態系を守る障壁とし、水系の森林・農地の森林・主要道路沿い森林という生態安全ネットワークを主体として、長江・淮河・巢湖などの大中型の河川・湖沼・ダムの水生態機能区を骨組に、重点生態機能区を支えにして、点状に分布した各種自然保護区・自然文化遺産・森林公園・地質公園・観光地・洪水時の流路や貯水区域などを構成部分とする生態安全戦略配置。

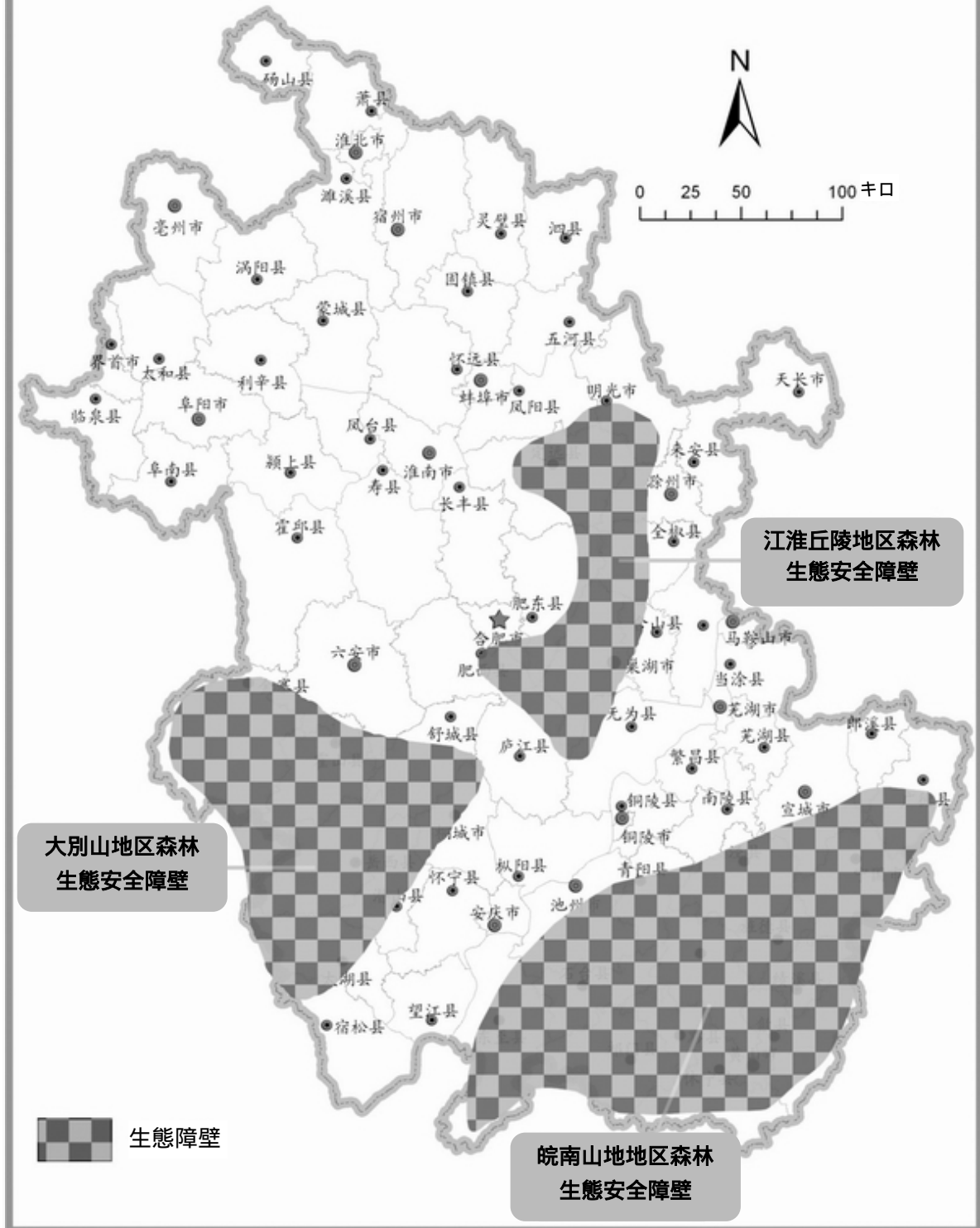
安徽省都市化戦略構造図



安徽省農業発展戦略構造図



安徽省生態安全障壁圖



第六篇 自主革新に力を入れ、創造的な安徽省を建設する

第十五章 合蕪蚌自主革新総合試験地区を重点とした国家技術イノベーション工程試験省建設の促進

合蕪蚌自主革新総合試験地区の持つ先導モデルとしての役割を十分に発揮させ、ハイレベルの人材による先導・産業のアップグレード・積極的な先行試験・牽引作用の発揮といった要求に従って、各種イノベーション要素を集め、科学技術・産業・改革・人材などの面で多くの成果を出すよう努力し、応用技術の開発を主とするイノベーションの道を進む。第12次5カ年計画期間中、全社会の研究開発投資・特許ライセンス量・省級以上のイノベーション型（試験）企業・ハイテク産業総生産高を年平均20%以上増加させ、イノベーションの経済社会への貢献を大幅に強化する。

第一節 イノベーション型企業の育成

「十地区向上、百社モデル、千社育成」という技術革新アクションプランを実施し、10前後の重点工業パークで、100社前後のモデル企業を選び、1000社前後の技術革新企業を育成する。企業の研究開発投資増加を促し、技術センターや工

程（技術）研究センターといった研究開発機関および工程化のプラットフォームの確立を急ぎ、人材・技術・科学研究資金などの革新要素を企業に集め、企業と科学研究所や高等教育機関とのさまざまな形の協力を推進し、業界標準制定に参加して、さらに創造的実力を高める。科学研究者・高等教育機関の教師や学生・帰国留学生などによる科学技術型企業の創業を積極的に支援し、2015年までにイノベーション型企業とハイテク企業を2000社以上に増やすことを目指し、企業を研究開発・技術革新・成果受益の主体たらしめる。

第二節 イノベーションの場づくり

合肥国家イノベーション型試験市の建設、および合肥・蕪湖・蚌埠の国家ハイテク区の建設を進め、蕪湖・蚌埠・馬鞍山などの諸市が国家イノベーション都市群入りするよう支援する。「科学技術を工業パークへ」プロジェクトを大きく進め、一群の省級ハイテク地区と特色ある産業の基地とを新たにつくり、各種開発区へのハイテク技術区設立を支援する。イノベーション型パークの建設を進め、各種パークの産業集約機能と周囲への影響力を高め、イノベーション力を強化する。科学技術創業サービスセンター・大学科学技術パーク・留学人員創業パークなどのインキュベート機能を整備し、共通技

術サービスの場・要素取引の場・成果の転化の場・仲介サービスの場・リソース共有の場をつくる。

第三節 重要な科学技術プロジェクトの実施

発展の加速と転換の加速という2つの戦略的任務を中心として、重要課題に対する戦略的新興産業支援プロジェクト・従来型産業の転換とアップグレードのための科学技術的プロジェクト・サービス業技術支援プロジェクト・現代農業の科学技術プロジェクト・社会民生科学技術支援プロジェクト・ハイテク産業発展プロジェクトを実施し、力を結集して鍵となる一群の共通技術に取り組み、自主革新能力とコアコンピテンシーを高める。応用基礎研究を強化する。知識革新のための施策を積極的に推進し、高等教育機関・科学研究所・企業が積極的に国家973計画・重要基礎研究計画・863計画・国家科学技術支援計画などの研究プロジェクトに積極的に申し出るよう支援し促す。強磁場などの大型科学テーマ関連のプロジェクトを支援する。

第四節 科学技術体制改革の深化

省所属の科学研究事業組織を分類・改革し、制度転換研究機関による現代的企業制度確立を支援する。高等教育機関の

科学研究体制改革を深化させ、創造的人材の素質の育成や自主革新能力の向上に有利な運用体制づくりを進める。国有企業に対する自主革新の評価・審査・賞罰制度を整備する。安徽省に位置する中央の科学研究機関・制度転換科学研究機関と地方の科学研究機関・企業との併合再編を支援し、産業共通技術の研究開発および産・学・研協力の拠点を共同で設立し、中電科技集団の省内での地域本部設立を支援し、合肥公共安全産業基地・蚌埠電子産業基地を共同で建設する。科学技術への投融資体制を大きく発展させ、創業向け投資の規模を拡大し、未上場企業の株式譲渡取引の場所づくりを積極的に推進し、合肥ハイテク科学技術保険革新試験地点を展開する。科学技術の対外開放を拡大し、開放・連合・集成および導入・消化・吸収・革新という流れを強化する。さまざまな形の産・学・研の連盟の設立を検討し、連盟を実質あるものとする。軍と民間とが融合した発展を推進する。中国煤炭工程技術研究院・安徽農業ハイテク技術研究センター・応用技術研究院などを設立する。領域の科学技術力を強化する。

コラム 11 六大科学技術重要プロジェクト

◆戦略的新興産業の技術的プロジェクト。省エネ環境保護産業では、省エネ設備製造、省エネ製品開発、余熱余圧利用、

スマートグリッド、環境モニタ機器の開発。電子情報産業では、新型ディスプレイ、音声言語の合成と認識、モノのインターネット、マイクロエレクトロニクス、ハイエンドソフトウェアなど。バイオ産業では、バイオ医薬、バイオ製造、バイオ環境保護。新エネルギー産業では、太陽光エネルギー技術、バイオマスエネルギー。新エネルギー自動車では、車両の集成および制御技術、動力電池と管理系統、モーター本体と駆動技術、距離延長器および充電ステーション。ハイエンド設備製造産業では、高級NC加工設備、工業用ロボット、自動化設備セット。新素材産業では、半導体照明素材、新型機能素材、ナノ素材と応用。公共安全産業では、炭坑の安全、交通・運搬の安全、地域の安全、反テロリズム。

◆従来型産業転換・アップグレードのための科学技術プロジェクト。自動車および重要部品では、省エネ/エコカー、製造業情報化。家電業界では、スマート家電。原材料業界では、金属材料加工新技術、新型建材。石炭業界では、石炭ガス化技術、石炭化学工業セット設備。繊維業界では、高級繊維素材および染色後の整理技術、産業用繊維製品。

◆サービス業技術支援プロジェクト。ハイテクサービス業では、研究開発設計サービス業、バイオテクノロジーサービ

ス業、IT サービス業、サービス業情報化。文化イノベーション産業では、情報技術の文化産業への応用。

◆現代的農業の科学技術的プロジェクト。穀物増産技術では、穀物増産技術とモデル、中低生産農地総合改良技術とモデル。生物育種では、農業生物資源の保護と利用、分子育種技術、生物質農業生産情報。農産物加工業では、現代的食品加工技術と設備、主要穀物・油糧作物の加工とモデル、食品品質と安全管理。

◆社会民生科学のための技術支援プロジェクト。健康人口、医薬の品質安全性、主要汚染物質対策技術、地域環境と資源や生態の保護、防災減災、都市化と都市発展など。

◆ハイテク技術産業発展プロジェクト。「十地区向上、百社モデル、千社育成」という技術革新アクションプランを実施し、10 前後の重点工業パークで、100 社前後のモデル企業を選び、1000 社前後の技術革新育成企業を育てる。科学技術の成果の転化と産業化を推進し、電子情報技術・省エネ/排出削減技術・クリーン生産技術などを利用して従来型産業を改良し、アドバンテージを持つ産業を大きくし、戦略的新興産業を育て、ハイテク技術産業を発展させ、産業の発展のレベルや質を向上させ、産業のコアコンピタンスを強化する。

第十六章 教育事業の優先的発展

第一節 全人教育の全面推進

全人教育の理念・要求・具体的な措置を各種各段階の教育の全過程に一貫して徹底させる。道徳教育を強化し、教育改革を進め、一人ひとりに合わせた教育方法で、中小学生の学習の過度の負担を適切に軽減し、学生の総合的資質を向上させ、学生を思想・知力・体力・審美眼のすべてが発達した社会主義の建設者・後継者とする。

第二節 基礎教育の質とレベルの全面的向上

義務教育普及の成果を強固にし、都市と農村の教育リソースを一体的に考え、学校の配置改善を促進し、バランスのとれた義務教育の発展を促進し、学校選択問題の解決に力を入れる。公益性と汎用性を堅持し、公立私立の幼稚園を大きく発展させ、都市と農村の両方をカバーする、合理的に配置された就学前教育の公共サービス体制構築に努める。条件の整った都市では、高校段階の義務教育を普及させ、普通高校の充実と特色による差別化を推進し、中学・高校の配置を改善する。特殊教育の発展を重視し、一群の普通学校による特殊教育学級や普通学級入りモデル学級の設置を支援する。2015

年までに、高品質でバランスのとれた義務教育をほぼ実現し、就学前三年ののべ入園率を65%まで高めることを目指す。

第三節 高等教育の強化

高等教育の構造を改善し、高等教育機関の教育の質を向上させる。学校のレベルアップ（専科→学院→大学）を重点に、高等教リソースをさらに合理的に配置する。高等教育機関の分類指導体系をつくり、各学校の位置づけを合理的なものとし、多元的で特色を持った学校づくりを行い、985 プロジェクトと211 プロジェクトの推進を継続する。実用型高等教育をさらに発展させ、高等教育の人材育成品質と技術革新能力を高める。高校と地域との連携を強化し、産学協同を推進し、地域の経済と社会の発展に貢献する能力を強くする。高等教育機関の負債問題を適切に解決する。2015年までに高等教育機関へののべ入学率を36%とする。

第四節 職業教育の強化推進

産業発展のニーズと密接に連携し、基幹モデル職業学院/専門学校・公共実地訓練基地・職業教育パーク・プロフェッショナル兼業型教師陣の育成を進め、一群の国家級重点職業学校を設け、地域や業界を超えた職業教育集団を組織する。職

業教育の学校運営モデル改革を進め、国有の大中型企業による職業教育実施を促し、学校での教育と現場での訓練を行う「二元制」職業教育モデルを進め、企業のニーズに合う人材を育てる「注文式」教育を積極的に推進する。政府の計画のもと、産業が指導し、業界が推進し、企業と職業学校が主体となり、民間の力が広く参与する、多元的な技能人材育成体系を整備する。職業教育と学歴教育との柔軟な相互連携体制をつくり、技能型人材を選抜する効果的な体制を制定する。「大職業教育」理念を打ち立て、職業教育の実用性を強化する。実務前研修の義務化や職業資格証書制度を実施し、技能型人材の社会的地位と待遇を向上させる。

第五節 継続的教育と私立教育

継続的教育。人的資源の能力育成強化を中心に、学歴外の継続的教育を大きく発展させ、学歴となる継続的教育を徐々に発展させる。継続的教育の健全な体制づくりを進め、柔軟でオープンな生涯教育体制を構築する。すべての人が生涯学習を続ける学習型社会づくりを進める。

私立教育。私立学校教育発展の優遇策を整備し、私立の学校・生徒・教師が公立の学校・生徒・教師と平等な法的地位を得られるようにする。私立教育の統一的な計画や管理を適

切に強化する。学校開設を規範化する。法人の管理構造を整備する。政府の学校事業を主体とし、社会全体が積極的に参加し、公立と私立がともに発展するような構造の形成を促進する。

第六節 教育の優先的発展の適切な保障

政府の投資を主としさまざまなルートで教育経費を集める体制を健全なものとし、教育への投資をたえず増やし、経済社会発展計画では教育の発展を優先し、財政資金では教育投資の確保を優先し、公共リソースでは教育と人的資源開発のニーズを満たすことを優先する。多元的な教育への投資体制をつくり、財政的な教育経費の支出が域内総生産に占める比率を継続的に上げる。教育の発展を優先的に支援する優遇政策を制定・実行し、人材教育強化戦略を実施し、優れた資質を持つ教師陣をつくり、特に農村の教師の資質を高める。教師の権益を適切に保障する。国の省級教育総合改革試験省政策を全面的に実施し、教育の管理体制の改革を継続的に進める。教育の対外開放をさらに拡大する。

コラム 12 教育の重点プロジェクト

◆義務教育学校標準化プロジェクト。校舎安全プロジェクトを実施し、総合的な防災減災能力を高め、校舎が総合防災安全要求に達するようにする。中小学校の配置調整・能力不足の学校の強化・寄宿制学校の設置・中学校建設を進め、義務教育学校の教師／学習用機器設備・図書・運動場などが全体として標準に達するようにする。

◆教師陣育成プロジェクト。農村の義務教育学校教師のための特別職位設置計画を引き続き実施し、高等学校卒業生にとって農村での教師業務を魅力あるものとする。農村の中小学校の弱点学科の教師陣育成を強化し、辺境の貧困地区や昔の革命根拠地区などで極度に不足している教師を育成し補うことを重点とする。中小学校と幼稚園の教師全員に研修を実施し、省内の小学校教師の学歴を徐々に専門学校以上のレベルまで上げる。中等職業教育のプロフェッショナル兼業型教師陣と高等学校人材の育成を強化する。

◆就学前教育強化プロジェクト。就学前教育試験省政策を推進し、就学前教育三年アクションプランを実行する。公立幼稚園の建設を大きく進め、私立幼稚園の発展を積極的に支援する。農村の小中学校の余剰校舎や社会的リソースを十分

活用し、郷・鎮・村の幼稚園の改築・拡張・新設を行う。農村の幼稚園教師の資質研修を強化する。

◆職業教育基礎能力育成プロジェクト。中等職業学校標準達成プロジェクト、および職業教育専攻設置向上計画を実施する。職業教育実務訓練基地の設置を支援する。中等職業教育モデル校とモデル型職業教育集団の設置を支援し、資格を満たした県級職業教育センター建設を支援する。

◆高等教育の質的向上プロジェクト。一群の高水準の大学および学科・専攻を設置し、高水準のイノベーションの場また人文社会科学の拠点をつくり、イノベティブな人材を育成する。高等学校教学品質および教育改革・大学院生教育革新計画・思想政治理論科設置・皖北地区高等教育振興計画を引き続き推進する。

◆特殊教育発展プロジェクト。一群の特殊教育学校を改造・拡張・新設し、省管轄市と人口30万以上、障害を持つ児童が多い県（市）に特殊教育学校が必ずあるようにし、必要な教育・生活・リハビリ施設を追加し、教師に特殊教育向けの専門的研修を施す。

◆経済的困窮家庭の学生援助プロジェクト。義務教育段階の援助政策を健全なものとし、義務教育段階の雑費を全面的に免除し、農村の学生と都市の経済的に困窮した家庭の学生に対し教科書を無償提供し寄宿生の生活費を補助する。中等職業学校の経済的困窮家庭の学生および農業関連課目専攻学生に対する学費免除政策を実行し、学生出身地奨学金ローンの推進に力を入れる。高等教育機関卒業生の学費補償と奨学金ローン支払代行制度を健全なものとする。普通高校の学生と大学院生を国家奨学金体系に組み入れる。

◆教育情報化プロジェクト。省の第二世代の教育・科学研究ネットワークを中心とした教育専用ネットワークを設置する。小中学生や高校生の保有コンピュータ台数を大幅に高め、小中学校のマルチメディア教育を全体的に普及させる。農村の学校のITインフラを強化し、都市とのデジタルディバイドを縮め、農村の小中学校クラスにマルチメディアのリモート教育機器を配備する。各レベル・各種教育を網羅したデジタル化教学データベースと公共サービスプラットフォームを設置する。高等教育期間の「デジタルキャンパス」づくりをほぼ完成させる。機能の充実した省級教育基礎情報データベースおよび教育の質・学生流動・リソース配置・卒業生就職状態の監視分析システムを構築する。

◆留守児童活動センター設置プロジェクト。農村の留守児童の世話をを行うサービス体系を整備し、農村の小中学校と郷鎮総合文化センターなどの場所を用い、全省の農村地区に農村留守児童の家を設置し、図書・電話・コンピュータ・テレビなどを配置し、コンサルティングの場を設け、教師の指導を実施する。

第十七章 人材育成の強化

人的資源の優先的開発・人材構造の優先的調整・人的資源の優先的蓄積・人材投資の優先的確保・人材制度の優先的革新を堅持する。ハイレベルなイノベーション人材を筆頭に、応用型人材を主体として、党政人材・企業経営管理人材・専門技術人材・高技能人材・農村実用人材・社会業務人材の隊伍育成を統一的に推進する。人材招致を人材の隊伍育成の重要な方法とし、国内外の人的資源を統一的に開発し、企業を主体とし、産業が牽引する人材育成招致体制を打ち立て、安徽省の経済社会発展の重点分野で特に不足している専門的人材とハイレベル人材の問題解決に力を入れる。人的資源開発への投資を増やし、多元的な投資態勢を形成し、人的資源への投資比率を大きく引き上げる。实用重視の方針を堅持し、人材業務態勢を革新し、人材を尊重する社会環境、そして公

開・平等かつ競争原理がはたらく制度環境をつくり、科学的発展と振興加速のためにしっかりとした人材を確保し、広い範囲で知的支援を得る。

コラム 13 十大人材プロジェクト

◆党政人材素質能力向上プロジェクト。計画的に大規模な幹部教育研修を行い、「2009-2020 年全省党政リーダーグループ後備幹部隊伍建設計画」を実施する。基層幹部研修プロジェクト・公務員能力育成研修プロジェクトの実施に力を入れる。

◆イノベーションチーム設立プロジェクト。「115」産業イノベーションチーム設立を展開し、国家技術革新プロジェクト試験省・皖江都市ベルト産業移転モデル地区・各種産業パークを利用し、イノベーションや創業を担う一群の人材を育てる。100 の省級イノベーションチーム育成を支援し、10 の国家級イノベーションチームを導入する。

◆企業家育成プロジェクト。安徽省に属する企業で「2つの百プロジェクト」を実施し、マーケティング・人材管理・財務会計・法律などに通じた 100 人のプロフェッショナルな高レベル経営管理人材、および職業資質に優れ、戦略的思考を

有し、優れた生産経営や資本操作能力を持つ優秀な企業家 100 人を育成する。

◆優秀教育者育成プロジェクト。国内外で有名な学者 100 名、学術分野で一定の影響を持つ学術リーダーおよび優秀な教師 1000 名前後、学術分野で重要な役割を果たす省級・学校級の教学・科学研究の基幹人材 1 万名を重点的に育成する。

◆海外ハイレベル人材招聘「百人計画」。重要技術に突破口を開き、ハイテク産業を発展させ、新興の学問を先導できる、海外のハイレベル人材 100 名前後を安徽省に招き、そのイノベーション・創業を支援する。20 前後の省級海外ハイレベル人材イノベーション新規創業拠点を設置する。

◆専門技術人材知識更新プロジェクト。毎年 2 万名の中上級技術人材に研修を行い、中小企業から選ばれた、前途の見込みがある 50 名前後の中青年専門技術人材が、省所属の重点専門学校・科学研究機関・大企業で経験を積めるようにする。

◆宣伝文化人材育成プロジェクト。理論・ニュース・出版・文芸・文化産業経営管理・現代メディア技術など 6 分野の秀でた人材や青年 500 名前後を選抜し、重点的に育成する。

◆高技能人材育成プロジェクト。毎年、新しい技師 5 千人・高級工 4 万人を育成し、30 のエンジニア専門学校・50 の企業高技能人材育成拠点を設ける。

◆農村実用人材先導者育成プロジェクト。蓄財・科学技術・経営の先導者など、農村の優秀な実用人材の育成を強化し、各行政村の主要な特色産業に少なくとも 1~2 名の牽引役となる先導者がいるようにする。

◆貧困地区および基層人材支援プロジェクト。優秀な教師・医師・科学技術人員・ソーシャルワーカー・文化業務者が貧困地区や現場のために業務やサービスを提供するよう積極的に促し、高等教育機関卒業生を末端での創業や就業へ導くことに力を入れる。

第七篇 省エネ・排出削減を強く推進し、エコ文明建設を促進する

第十八章 資源の節約・集約利用促進

第一節 エネルギー資源の節約

エネルギーを節約する。工業・建築・交通運輸・公共機関・商業旅行といった重点分野の省エネを引き続き続行し、重点エネルギー消費企業に対する省エネ管理を適宜強化し、重点

業界のエネルギー効率水準のベンチマークを実施し、エネルギー消費強度を下げる。省エネ効果の増大を基本ラインとし、プロジェクト型省エネの主導効果を発揮させ、省エネ改造最適化プロジェクト・省エネ技術産業化モデルプロジェクト・省エネ製品振興普及プロジェクト・グリーン照明製品普及プロジェクト・契約エネルギー管理推進プロジェクトを重点的に実施する。省エネのための新技術・新製法・新製品の開発・導入・普及を進め、高効率の省エネ家電・自動車・モーター・電灯といった省エネ製品を重点的に普及させ、政府のエコ製品認証に対する宣伝と資金扶助にいっそう力を入れる。産業への参入条件を高くし、固定資産投資プロジェクトの省エネ評価審査を厳格にし、エネルギー消費の大きな産業の速すぎる成長を根本から抑制する。エネルギー消費構造を調整し、非化石エネルギーの比率を増す。政策体系を整備し、資源の希少度・需給関係・環境コストを反映した価格決定メカニズムを形成する。省エネに対する財政・税収・金融面の支援度合いを増す。エネルギー消費強度を重要な制限性指標とし、分割して着実に実現させ、目標責任制を整備する。法律による省エネを強化し、関連法規や標準を十分なものにして、法律による省エネの監督検査を強化する。宣伝教育を強化し、省エネで環境にやさしい消費モデルと生活習慣を称揚する。

用地を節約・集約する。土地資源を合理的に管理し、土地供給政策と土地使用基準を厳しくし、複数階建ての標準工場建屋の建設を後押しし、単位あたりの土地投資効率を引き上げる。都市・農村建設用地の整理・農地回復を強化し、十分利用されていない土地を活用し、未利用地を十分利用する。農村土地総合整備全村推進プロジェクトを実施し、2015年までに農村の土地500万ムーを総合整備し、耕地を15万ムー増やし、高標準農地425万ムーを設ける。都市の土地の「二次開発」を積極的に推進し、土地節約型の公共建築や住宅を発展させ、都市の土地集約化水準を高める。合肥の国家集約用地節約試験市の実施を支援する。

水資源を節約する。節水型の社会づくりを推進する。農業での節水を発展させ、節水型作物品種の作付面積を拡大する。工業での節水を推進し、水の消費量が多い業界の節水技術改良・立坑の水の資源化利用・水不足地域での水消費が大きなプロジェクト実施の制限を重点的に推進する。都市での節水を実施し、都市の給水ネットワークの改造を加速し、公共建築・生活エリア・住宅での節水と生活排水再利用施設設置を進める。地下水資源の管理を強化し、地下水の採取を厳しく管理する。大量の水を消費する業界において、参入標準制度と水割当量管理制度を実施する。

鉍産資源の探査開発を順次推進する。探査にいっそう力を入れ、重要鉍物資源の探査開発のために一群の支援拠点を形成する。市場参入管理と鉍業権市場の設置を強化する。市場配置鉍産資源管理体制を整備し、鉍産資源有償使用制度と鉍山環境回復補償制度を実施する。鉍産資源の総合利用率を高める。

第二節 循環型経済の発展

循環型経済モデル都市・工業団地・企業の設置を全面的に推進する。工業団地のレイアウトを合理的に計画し、企業がリソースの共有や廃棄物利用などの方法で循環型経済を発展させるよう後押しし、循環型の産業体系を構築する。共伴生鉍産資源・工業廃棄物・農林廃棄物・建築ゴミ・わら転化などの総合利用水準を引き上げる。廃車部品・プラント設備・工作機械・廃タイヤ・事務機器などの再生産業の発展を推進する。「都市鉍山」のモデル基地づくりを積極的に進め、銅陵鉍山や滁州廃車循環経済モデルパークなどをつくる。廃棄家電・廃雑金属・電子製品などの再生資源の回収利用を推進する。飲食店廃棄物の資源化と無害化水準を引き上げる。銅陵非鉄集団・淮南鉍業・馬鋼集団など重点業界企業循環経済モデルプロジェクトの実施をさらに推進する。

第十九章 環境保護の強化

汚染排出物総量規制を地域と産業の発展についての意思決定の根拠とし、環境アセスメント計画を強化し、環境保護の面で参入基準を引き上げ、クリーン生産を大きく推進し、大気汚染や水質汚染など人民の身体的健康に危害を及ぼす目立った問題の解決に力を入れる。

第一節 汚染防止の強化

企業の汚染防止を強化する。環境保護参入基準を厳しくし、立ち遅れた製造技術や生産能力を淘汰する。石炭火力発電所および冶金・非鉄金属・建材といった重点業界の脱硫・脱硝を重点に、大気汚染防止の推進に力を入れる。化学工業・繊維染色・製紙・食品加工といった業界の水質汚染管理を重点的に実施する。企業を工業団地に集中させ、汚染の集中処理を実施する。

都市農村環境の総合整備を進める。都市の污水関連設備の建設を進め、下水管ネットのカバー範囲を拡大する。生活ゴミの無害化処理と資源化利用を強化する。自動車排気ガス・煙塵・騒音など総合的な環境整備を強化する。一定規模の郷鎮の污水処理施設の建設を進め、農村に適した污水処理技術

を普及させる。家畜・家禽・水産物の養殖の汚染防止を強化し、養殖廃棄物の資源化利用を実現する。農業汚染や農村工業汚染の防止を積極的に行う。

流域汚染の防止を重点的に強化する。淮河・巢湖・安徽省内の長江・新安江流域の水質汚染の処理と保護にさらに力を入れ、汚染が深刻な河の措置を強化し、河川ごとに対策措置をとる。河川や湖沼への汚染排出口を全面的に処理する。流域の水環境を安定させ、好転を目指す。重点汚染排出企業および河川・湖沼への汚染排出口の監視を強化する。

第二節 環境保護体制の整備

主な汚染物質排出総量管理制度を実施し、環境保護目標考査制・責任追及制・行政首長責任制を実行する。環境アセスメントと「3つの同時（主なプロジェクトと汚染防止設備の設計・施工・使用を同時に進める）」の管理を強化し、空間・総量・プロジェクトの許可および専門家の評価・公衆の評価による環境許可制度を推進する。主な汚染物質排出許可証管理を実行し、汚染排出権の有償使用と取引を推進する。重点業界と重点地域の汚染物質排出基準を引き上げる。環境に対する深刻な潜在的危険の防止制度を整備する。環境保護関連の法執行を強化し、健全な環境モニタリング体制を構築し、環

境状況公告と企業の環境保護情報公開制度を実行し、社会や公衆による環境保護の監督への参加を励ます。宣伝教育を強化し、一般の環境保護意識を高める。国家環境保護模範都市の創建を励ます。

第三節 自然生態系の保護

水源・土地・森林・湿地・野生動植物などの自然資源に対する生態系保護を強化し、引き続き自然林の保護・耕地の再森林化・土壌流失対策などの生態プロジェクトを推進し、生態機能区・開発禁止区域の生態系保護を強化し、2015年までに良性の循環を有する初期的な生態環境保護体制を構築する。

エコロジーな安徽省づくりをさらに進める。省の生態系モデル基地・重大プロジェクト・モデル地区の設置をさらに進める。農村の生態系づくりや美しい村づくりを積極的に進め、一群のエコロジー工業パークを創設する。エコな省づくりに関連する施策を整備する。

生態系の保護を強化する。新安江上流地区・大別山地区などの重要な水源涵養地区および生物多様性保護地区といった地域の生態機能の保護や回復を行い、江淮分水嶺・皖南山地・大別山地区・鉅山地区などの生態系が脆弱な地区の総合整備

を実施し皖北地区の石質山地の緑化を推進する。荒れた山への造林や耕地の再森林化を継続し、山林の乱伐を厳しく禁止する。長江・淮河の防護林体系、平原農地の防護林網、自然保護区、商品森林基地の建設を強化する。黄山の松くい虫防止を推進する野生動植物の保護を強化する。重点地区の地質災害防止を強化する。生態系補償体制を確立し、新安江などの地区に生態系補償試験地点を設定する。

コラム 14 環境保護・処理重点プロジェクト

◆都市污水処理プロジェクト。都市の污水処理場ネットワークのカバー範囲を広げ、污水の高度処理を実施して、脱リン・脱窒素能力を増強する。2015年までに、全省の都市の污水集中処理率を85%以上とする。

◆農村環境重点整備プロジェクト。養殖業汚染・農業汚染の処置を実施し、農村の自然生態系の保護を強化し、村のクリーンプロジェクトを実施し、農村環境を改善する。

◆都市農村生活ゴミ処理プロジェクト。都市農村ゴミの収集運搬能力を高め、ゴミの分別処理と資源化利用を徐々に推進し、2015年までにすべての市県に1カ所以上のゴミ無害化

処理施設を完成させ、都市生活ゴミの無害化処理率を75%以上にする。

◆工業団地パーク汚水処理プロジェクト。一日あたりの汚水排出が5000トン以上の工業パークすべてに、単独の汚水処理施設を建設する。

◆大気汚染処理プロジェクト。発電所の脱硫脱硝・鉄鋼焼結ガスの脱硫・石油精製業界の二酸化硫黄処理・コークス炉ガスの脱硫・硫酸排ガス処理・建材キルン排ガス脱硫・石炭ボイラー排ガス脱硫・セメント業界低窒素燃焼改良および脱硝などのプロジェクトを実施する。

◆医療廃棄物と危険廃棄物の処置。危険廃棄物・医療廃棄物減量化モデル、危険廃棄物・医療廃棄物処理能力拡張、固体廃棄物総合利用プロジェクトを実施する。

◆環境リスク防止プロジェクト。重金属汚染防止・持続性有機物汚染防止・放射能廃棄物の安全な処理・医療機関の放射能安全防護などの措置を強化し、環境リスクを防止する。

第二十章 気候変動への積極的対応

温室効果ガス排出を抑制する。低炭素経済の発展に力を入れる。工業生産による温室効果ガス排出を抑制する。高産量

水稲品種と半乾燥式栽培技術を普及させ、動物の糞便・排水・固体廃棄物の利用と管理を強化し、メタンガス排出の増加速度を抑制する。植樹造林・耕地の再森林化/再草原化・自然林資源の保護を継続し、森林の炭素蓄積量を増やす。森林の育成と保全に力を入れ、単位面積あたりの森林蓄積量を引き上げる。

気候変動対応能力を増強する。農業インフラ整備を強化し、優良品種を選択し、気候変動対応能力を増強する。水資源の総合利用管理を強化し、洪水防止体制と増水防止・干ばつ対策の指揮系統を確立し、水資源の気候変動対応能力を高める。気候変動の傾向の特徴を検討し、突発的な公共衛生事象への対応体制を確立し、人体の気候変動に対する対応能力づくりを強化する。極端な気候事象に対応するための科学技術支援能力を増強する。

国際協力を強化する。国外の先進技術と管理経験を積極的に導入し普及させ、クリーン開発メカニズム（CDM）を十分利用し、より多くの CDM プロジェクトが国際市場に入ることを目指す。対策案を整備して、省全体の気候変動対応能力と持続可能な発展の能力を継続的に向上させる。

第八篇 社会の建設と管理を強化し、調和のとれた社会を構築する

第二十一章 民生改善を重点とした社会づくりの推進

第一節 あらゆる手段を用いた都市・農村住民の所得向上

経済発展に見合った所得増加体制を打ち立て、住民所得の国民所得分配における比率を引き上げる用努力し、初期分配中の労働報酬の比率を引き上げる。最低給与標準を順次引き上げ、企業の給与集団交渉制度を推進し、企業の給与の正常な増加体制を健全なものとする。公務員の給与体系を整備する。事業単位の所得分配制度改革をさらに進める。給与制所得を引き上げる。創業環境を向上させ、広く創業を励まし、高効率農業や農村の第二次、第三次産業を積極的に発展させ、経営による所得を増やす。私有財産権を保護し、住民資産価値の保持と増加の方法を刷新する。土地収用補償体制を整備し、農民が土地の売却や譲渡で財産所得を得られるようにする。財政面で各種社会保障資金への投資を増やし、農業補助資金の規模と範囲を増大させ、移転所得を拡大する。

所得分配を合理的に調整する。低所得層の所得を増やし、都市・農村の最低生活保障基準を徐々に引き上げ、離職・退

職者の年金の合理的な増加制度を整備する。中所得層の比率を拡大する。高すぎる所得を効果的に調節する。所得分配の格差拡大傾向を抑制する。

第二節 さまざまな方法による就業機会拡大

いっそう積極的な就業政策を実施し、都市と農村の労働者の就業を一元的に調整する。労働集約型産業・サービス業・小型/零細企業を大きく発展させ、就業機会を効果的に増やす。高等教育機関卒業生・農村からの移転労働力・都市の就業困難者の就業問題を重点的に解決する。退役軍人の就業業務を行う。少額ローン担保・財政割引・場所の手配などの自主創業奨励政策を整備して実行し、農民工帰郷創業モデルパークと留学生・大学生創業パークの設置を進め、各種グループの自主的な創業を推進する。公共の就業サービス体制を整備し、統一的でオープンな人材市場・末端就業サービスセンター・農民工都市サービスセンターをつくり、職業訓練や就業に対する考え方についての教育を強化し、就業と失業の状況のモニタリングを行う。職業危険の防止・労働者の権益保護・人材市場の監督管理・法律による労働監察の強化に力を入れ、健全な労使関係調整制度を確立し、調和のとれた労使関係を

築く。労働力の省内での就業を促し、企業の従業員不足の問題を緩和する。

第三節 社会保障体系の健全化

広いカバー範囲・基本的な部分の保障・多段階・持続可能という基本方針を堅持しながら、全面小康社会に適した、都市と農村の住民をカバーする社会保障体系づくりを進める。

社会保険制度の整備。都市・農村住民をカバーする基本養老保険制度の確立を急ぐ。新型農村社会養老保険制度の全面カバーを実現する。事業単位の養老保険制度を改革する。企業年金制度を発展させる。都市労働者・都市住民医療保険と新型農村合作医療保険を統合し、保障基準を徐々に引き上げ、都市と農村の間、異なる制度の間で医療保険関係がスムーズに移行できるようにし、都市・農村住民をカバーする健全な基本的な医療保障体系をつくる。失業保険のカバー範囲を広げ、資金投入を増やす。労災保険と労災防止、労災リハビリと労災保障を組み合わせた、現代的な労災保険制度を徐々に作り上げる。出産保険をさらに整備する。社会保険料の徴収主体を標準化し、徴収責任を明確にする。末端社会保障サービスセンターの施設づくりをさらに推進し、2015年までに

社会保障サービスセンターが基本的に省全体をカバーするようにする。

健全な社会扶助制度をつくる。都市・農村住民の最低生活保障制度、教育扶助制度、都市・農村医療扶助制度などの社会扶助制度をさらに整備する。赤十字社の人道援助分野での役割を十分に活用する。慈善事業の発展を支援する。社会からの寄付・助け合い・ボランティア・法律支援などの社会扶助活動を励ます。災害対策・救援業務を行う。

住宅保障制度を整備する。各級政府の責任を強化し、住居確保プロジェクトにさらに力を入れ、公共賃貸住宅を発展させ、廉価住宅保障制度を整備する。各種貧民街の改良と農村の危険住宅対策を推進する。住宅公共積立金制度を健全なものとする。中低所得層の住宅問題を徐々に解決する。

第四節 医療衛生事業改革の発展加速

末端の医薬衛生体制総合改革の成果を固め、引き続き末端医療衛生機関の人事・分配・補償体制改革を進め、公益性管理体制と活力に満ちた運用体制を確立する。国の基本薬物制度確立を急ぎ、基本薬物の健全な供給補償体系を確立し、薬品の品質と安全を確保する。医療衛生リソースを合理的に配

置し、医療衛生人材と地域の医療衛生サービスセンターを充実させ、県級医院を先導者、郷鎮の衛生院とコミュニティー衛生サービスセンターを核心、村の衛生室と社会衛生サービスステーションを基礎とした、都市農村が一体となった健全な末端医療衛生サービス体系を構築する。公共衛生サービス体系と衛生緊急対応体系を確立し、都市・農村住民をカバーする基本的な公共衛生サービスという目標を全面的に実現し、基本公共衛生サービスの均等化を促進する。公立医院の改革実験を積極的かつ確実に進める。社会資本による医療機関開業を支援し、私立医院の発展を標準化し、各級・各種医療機関の分業協力体制を整備し、徐々に多元的な医療体制を形成する。中国医学事業の発展を支援し、中国医薬のサービス体制を整備し、新安医学の研究と発掘を強化する。重大伝染病と住血吸虫などの風土病を防止する。衛生監督法律の執行体制づくりを強化する。

第五節 人口関連業務の強化

計画出産の基本的国家政策を堅持し、低い出生率を保ち、人口政策を整備し、人口と計画出産管理サービス体制を健全なものとし、人口の長期的にバランスのとれた発展を促進する。出生人口の男女比率問題の総合的解決にいっそう力を入

れる。積極的な健康面の介入施策を実施し、出生児の欠陥発生率を低くし、人口の質を引き上げ、2015年までに乳児出生死亡率を9%以内まで抑える。女性の合法的権益を的確に保障し、未成年者の保護を強化し、女性・児童事業を発展させる。障害者事業の発展を支援し、引き続き障害者の社会保障体制づくりとサービス体制づくりを推進する。

第六節 高齢者事業の積極的発展

中低所得層の高齢者の基本的なサービス需要を満たすことを重点とし、高齢者サービスの社会事業化・専門化・標準化を積極的に推進し、老人が家で生活することを基礎に、コミュニティのサービスを利用し、高齢者施設を補助として、整った機能を持ち都市・農村をカバーする高齢者サービス体制を確立する。高齢者サービスのための公益施設の建設を強化し、社会資本による高齢者サービス機関の開業を励ます。現代的な高齢者向け産業を大きく発展させる。高齢者サービスの分野を拡大し、基本的な生活の世話から、医療と健康・精神的支援・法律サービス・緊急時援助といった方面に広げることがを促進する。高齢者人的資源の開発利用を進め、老人サービス関連の支援政策を整備する。

第七節 開発型貧困支援のさらなる推進

貧困支援を全体に徹底し、低所得人口に対し全面的に貧困支援政策を実施し、貧困支援政策と農村最低生活保障制度とを効果的に連携させる。プロジェクト・業界・社会による貧困支援の推進に力を入れ、（党员と貧困家庭の）ペアリングによる援助制度を整備し、貧困支援の対外的な交流や協力を強化する。貧困人口が集中している旧革命根拠地区・山地・ダム地区・淮河沿い洪水対応地区・江淮分水嶺地区・少数民族居住区といった貧困地区への支援を強化し、皖北地区・大別山地区などの特別困窮地区密集地域の対策に集中する。引き続き村全体での推進・産業による支援・「雨露計画（就業創業能力強化支援）」を実施し、労働力の移転・就業と一体化したプロジェクトを推進する。貧困村互助資金の実験を拡大する。生活環境の良い場所への移転支援を積極的かつ確実に実施し、移転後に生じる問題を適切に解決する。財政の貧困支援資金への投入を増やし、国の要求する比率に従って、労働機会提供による救済など省級財政の貧困支援資金を活用する。貧困支援業務体制を整備し、考査を強化して、業務レベルを向上させる。5年間で200万人の支援対象者が貧困から脱出するよう支援することを目指し、国の貧困支援業務重点県の農民ひとりあたり所得の増加率を省全体の平均レベルより高め、少

数民族居住地区の主な経済社会発展指標が地区の属する県の平均レベルより高くなるようにする。

第二十二章 社会の管理水準の向上

第一節 社会管理体制の刷新

党委員会が指導し、政府が責任を持ち、社会が協力し、公衆が参加する社会管理体制を整備し、末端の社会管理体制を健全なものとし、根本の処置・動的な調整・緊急対応管理が相互に連携し、相互に支援する社会管理体制の構築を急ぐ。社会管理と公共サービスの面における政府の主導的役割を強化する。各種社会組織や企業・事業単位の協同作用を発揮させ、社会管理の標準化・専門化・社会化を推進する。最大限に公民を動員し法により社会管理に参加させ、公民意識を育て、公民の義務を履行する。

第二節 都市・農村のコミュニティーづくり

都市・農村コミュニティーの自治機能とサービス機能を強化し、新型のコミュニティー管理サービス体制を整備し、コミュニティーを秩序正しく、サービスが整い、平和で文明的な生活共同体とする。コミュニティーの管理構造を整備し、都市農村境界部、「都市内村落」などのコミュニティーの住民

委員会設置を強化し、コミュニティにサービスの・公益的・互助的な社会組織を育て、所有者委員会・不動産管理機関・地区内事業単位などの組織に積極的な作用を発揮させ、土地に適した新しいコミュニティ管理サービスモデルをつくる。住民のニーズを方向性として、人口・就業・社会保障・民政・衛生・文化および総合管理・治安維持・陳情などの管理機能とサービスリソースを整理し、管理の重心を下に移して、基本的公共サービス職能を拡大し、コミュニティ管理とサービスの場を構築する。コミュニティサービスステーションなどの機関を標準化し、末端の政府委託事項を効率的に受け入れられるようにする。政府と社会が組み合わされた経費保障体制を確立する。コミュニティ内作業人員の専門化・職業化を促す。流動人口および特殊グループの管理サービスを行う。

第三節 社会組織づくりの強化

育成発展と管理監督の双方を堅持し、社会組織の健全で秩序だった発展を促し、サービス提供・ニーズ反映・行動の制御といった役割を発揮させる。社会組織の登録管理を改善し、経済類・公益類の社団や基金会の設立条件を適度に緩和し、農村專業經濟協會・コミュニティ末端社会組織の登録手順

を簡素化する。各種業界団体や商会の改革発展を促し、業界の自律を強化する。育成扶助政策を整備し、より多くの公共リソースと分野を社会組織に開放する。社会組織の監督管理を強化し、法律・政府・社会・自身による監督を組み合わせた監督管理体制を整備する。

第四節 大衆権益保護制度の整備

新たな形勢下での大衆工作を強化また改善し、各方面の利益関係を一元的に調整し、合理的また効果的な大衆の意見表明・利益調整・権益保障のための制度をつくる。社会や民衆が意見を表明するルートを広げ、さまざまな方法でスムーズに効率良く意見を表明できる制度をつくる。行政決定のリスク評価制度と決定是正制度の確立を急ぐ。公共関連の決定についての社会公示制度・公衆ヒアリング制度・専門家諮問論証制度を整備する。陳情および行政サービス業務を強化改善し、民意汲み上げのためのネットの持つ役割を活用し、社会の関心事に積極的、自主的に対応する。社会問題の仲裁制度を整備し、人民仲裁・行政仲裁・司法仲裁が連動した健全な業務体制とする。大衆工作をしっかりと行い、大衆の利益を確実に守る。

第五節 公共安全体系の健全化

食品・薬品の安全を保障する。食品・薬品の品質トレーサビリティ制度を確立し、食品・薬品の健全な安全緊急対応体系をつくり、即時通報・即時対応を強化する。飲食業・健康食品・化粧品などの安全リスク評価と監督管理法執行を強化する。薬品の安全の技術支援能力を強化し、末端のスピーディーな検査測定能力の向上に力を入れる。基本薬物の監督管理を強化し、基本薬物の品質安全を確保する。

厳格な安全生産管理を実施する。安全監督管理の法執行能力を強化し、法制と政策による指導を強化し、安全目標の審査と責任追及を厳しく行う。重大な潜在的危険の処置についての公示督促や是正効果評価制度を実施し、鉱山や交通などの分野の改善管理プロジェクトを深化させる。安全許可を厳しくし、違法な生産経営を厳しく取り締まる。職業安全・健康防護を強化する。安全専門の技術サービス機関を規範に則って発展させ、中小企業に対する安全のための技術援助やサービスを強化する。

防災減災を推進し緊急対応能力を強化する。省全体の健全な総合防災減災制度を確立し、洪水防止・消防・地震対策・気象・防空などの防災減災インフラ建設を重点的に強化する。安全な発展という理念を強化し、予防を中心の考えを堅持し、

自然災害・大事故・公共衛生事象・社会安全事件に対する予防・警告・緊急対応処置の健全な体系をつくる。各種緊急物資の貯蔵庫建設を強化する。

治安の総合整備を強化する。社会の治安維持体系を整備し、都市・農村のコミュニティでの警察業務や自治的な犯罪防止など末端の業務を強化し、行政法律チームづくりを強化して、公正廉潔な法執行を行い、厳しい防犯と各種違法犯罪活動の法律による取り締まりを進め、「平安な安徽省」づくりをさらに推進し、全国で最も安定した省のひとつとなるよう努力し、人民の安心感と満足度を高め続ける。

コラム 15 社会づくりの重点プロジェクト

◆住居確保プロジェクト。5年間に、廉価賃貸住宅・公共賃貸住宅・各種貧民街改良・農村の危険住宅対策などにより保障用住居200万戸を準備する。2015年までに、比較的低所得の家庭の住宅問題を大幅に緩和する。

◆医療衛生重点プロジェクト。郷鎮衛生院と付属施設・衛生情報化システム・衛生監督体系・精神衛生体系・職業衛生予防治療体系・母子保健体系・中国医学医療機関・コミュニティ衛生サービス機関・疾病予防管理機関の能力整備・省

市級総合医院および専門委員能力・病院内外救急総合能力・血液の安全・省突発的公共衛生事象指揮系統などのプロジェクトを重点的に行う。

◆労働就業と社会保障公共サービス施設設置プロジェクト。県級の就業と社会保障サービスセンター105カ所、郷鎮（街道）人的資源社会保障総合サービスセンター1520カ所、省級（他地方での医療の地域決算センターを含む）および17の省管轄市社会保障サービスセンターを設置する。人材資源市場で「512」ブランド計画を進め、5年の間に全国的な知名度を持ち地域で大きな影響力を持つ省級人的資源配置センター5カ所、省級専門人的資源サービス機関10カ所、省級人的資源サービス期間20カ所を育てることを目指す。

◆農村の余剰労働力研修・移転就業・社会保障一体化プロジェクト。農村労働力の移転就業が大きな課題となっている県（市・区）や郷鎮が、既存の技術学校や就業訓練センターなどの職業訓練施設や農民工創業モデル工業団地を利用し、新設や改築により農民工の職業技能研修と移転就業の拠点をつくる。

◆重点民政プロジェクト。高齢者サービス制度づくりを強化し、都市・農村コミュニティーに高齢者サービス施設12,000

施設、各種高齢者向けベッド数を 24.6 万増やし、各コミュニティに高齢者向けのショートステイやデイサービスを提供する厚生施設を設置する。省総合老幹部活動センター・高齢者アパート・コミュニティ高齢者サービス施設・農村高齢者サービスセンターを設置する。省級・市級・県級の傷害者リハビリ総合サービス体系、障害者管理センター、就業サービスセンター、ステイサービスセンターを設置し、農村の貧しい障害者の危険住宅改良を強化する。

◆都市・農村コミュニティサービス体系設置プロジェクト。健全なコミュニティサービス体系をつくり、都市のコミュニティの 100%にサービスステーションを、80%以上の街道にサービスセンターを、都市部の 80%にサービス情報ネットワークプラットフォームを確立する。全省の 80%の行政上の村に農村コミュニティサービスセンターを設置し、80%の郷鎮にコミュニティ総合サービスセンターを設置する。

◆社会治安維持プロジェクト。社会治安維持緊急対応体制・デジタル社会治安管理体系・人民来訪受付センター・都市農村コミュニティの確立を進め、省の社会組織インキュベーション拠点および社会組織管理情報システムを確立する。全人口の基礎情報データベースづくりを強化し、人口の

マクロ管理と政策決定情報システムを整備する。安全生産の緊急対応・技術支援・安全監督管理設備を充実させる。青少年管理総合サービスカウンターと教育援助業務ソーシャルワーカーチームをつくる。

第九篇 文化の建設に力を入れ、地域のソフトパワーを強める

社会主義先進文化前進の方向を堅持し、大胆な実行・進取の気性・誠実さ・オープンな協力の精神を称揚し、文化事業と文化産業の発展を速め、文化事業の繁栄と文化産業の発展の両方を同時に進め、文化が持つ社会を先導し、人民を教育し、発展を促すという役割を十分に発揮させ、省内の人民の団結とイノベーションを強化する。2015年までに公共文化サービス体系をほぼ完成させ、人民の科学的文化的資質と品格をさらに引き上げ、文化発展の主な指標を中西部トップレベルに、一部の業界と分野では全国のトップレベルに引き上げ、文化産業の付加価値を1200億元以上とし、国民経済の新たな支柱となる産業として、「文化大省」から「文化強省」への歴史的飛躍を実現する。

第二十三章 省全体の人民の文明的素質の向上

中国の特色ある社会主義理論体系による党員の武装と人民の教育を堅持し、社会主義核心価値体系づくりを着実に推進する。社会・職業・家庭・個人のモラル向上をさらに推進し、大衆型の精神文明確立活動の開拓を続ける。国を愛し法律を守ること、まじめで正直であることを積極的に唱導し、職業品位を高めて、伝統的な美德を受け継ぎつつ社会主義精神文明の要求にかなない、社会主義市場経済に適応したモラルと行動規範を構築する。人文主義的配慮を強化し、ボランティア活動を広く展開し、進取の気性を持ち、理性的かつ平和で、オープンで包容力のある社会心理を育てる。自分を律すること、老人と子供を大切にすること、勤勉さ、誠実さなどを提唱し、積極的な助け合いの雰囲気を作り出す。科学的な精神を称揚し、科学的素質を養成する力を強化し、公衆の科学的素質の向上を続ける。社会環境を浄化し、青少年の心身の健康を守る。教育・法律・行政・技術・経済などの手段を総合的に利用し、正しい価値観を持ち自分の義務を果たすよう人々を指導し、善を助け悪を憎む社会の雰囲気を作形する。

第二十四章 文化の改革刷新の加速

文化制度の改革をさらに進め、オープンで秩序ある競争がなされる市場体系と管理制度を構築する。公益性文化事業単位の改革を着実に推進し、公共文化サービスの運用体制を刷新する。資格をそなえる市場主体の育成に力を入れ、制度転換済みの文化企業が現代的な企業制度を確立し、法人管理構造を整備するよう促す。非公有制の資本がさまざまな形で文化産業分野に参入するよう励まし支援して、公有制を主体としながら、さまざまな所有制度がともに発展する産業体制を徐々に形成する。文化管理体制改革をさらに推進する。国有文化資産管理体制を整備する。

大衆の文化的ニーズの新たな変化や要求に積極的に応え、テーマを発揚しつつ多様化を提唱し、文化の内容・表現・形式・伝達手段の革新を力強く推進する。安徽省の豊かな文化遺産を掘り起こし、当時の安徽省人民の豊かな創造性をたたえ、自身が知的財産権を有する特色ある文化ブランドと強いコアコンピタンスを有する芸術分野を育て、安徽省らしさを表現し、思想的・芸術的に優れながらも親しみやすい、全国に重要な影響を与える優れた作品をつくりだす。理論革新プロジェクトを実施し、学科体系・学術的視点・科学研究手法の刷新を推進し、公共のナレッジベースづくりに力を入れ、

経済社会発展における重要な現実の問題に対する研究を強化し、発展哲学社会科学を繁栄させる。

第二十五章 文化事業と文化産業の振興

第一節 文化事業の全面的繁栄促進

政府が主導し、社会が参与し、農村とコミュニティーを重点としながら、引き続き文化惠民プロジェクトを推進し、公共文化機関の運用保障体制を整備して、シンボリックな文化施設建設を進め、都市と農村をカバーし、人民すべてに恵みとなる公共文化サービス体系を基本的に完成させる。ニュースメディアを強化し、3つのネットワーク（電話・テレビ・コンピュータ）の融合後の新興マスメディアの確立・運用・管理の推進を重視し、正確な世論誘導力を持つようにし、報道力を高める。中国農民歌会・「江淮情」プログラム・省芸術祭・「三下乡（農村での文化・科学技術・衛生の知識の普及活動）」などの各種文化サービスや重要文化イベントを成功させる。末端の文化チームづくりを強化する。安徽省の地方文化を継承また確信し、各種文化財・自然/文化遺産・歴史文化を持つ有名な都市/村の保護を重視し、徽州文化生態保護実験区の建設と管理を強化し、黄梅戲などの地方劇の保護と伝承を促進し、中国花鼓灯原生態保護区の建設と管理を強化する。文書

保存や郷土史事業の発展を強化し、県（区）資料館プロジェクト実施を推進する。公共体育インフラづくりを強化し、大衆の体育を発展させ、全民的健康づくりを進め、競技スポーツのレベルを高め、体育産業を発展させ、スポーツに強い省をつくる。

第二節 文化産業の飛躍的発展推進

先導的文化企業を強化する。基幹文化企業の地区・分野・所有制度の枠を超えた併合再編を促し、省内外の文化リソースを一元的に利用して、文化企業の「空母」とする。安徽出版集団・新華発行集団による大型の多国籍文化メディア集団形成を支援し、新聞社・マスメディア・ショービジネスおよび時代出版・皖新メディア・新安メディア・蕪湖方特などの国内一流の大型文化企業化を推進し、さらに5社以上の上場文化企業の育成を目指す。広範囲にわたる影響力と長期的な競争力を持つ商品、サービス、企業ブランドを出し続ける。

地域的特色を有する文化産業集積地を構築する。映画製作・出版発行・印刷複製・芸能娯楽・広告・文化用品・アニメなどを重点として、社会の各方面の力を十分に活用し、モデル効果と産業牽引の作用を持つ重要文化産業プロジェクトの実施を進め、30前後の省級文化産業パーク（基地）の建設

を計画する。文化イノベーション・デジタル出版・ネットワーク/モバイルマルチメディア放送などの新しい文化業態の発展に力を入れ、公共文化サービスの場を打ち立てる。合肥・蕪湖に国家級アニメ産業基地を設け、アニメ産業大省とする。文化産業と科学教育・建築・製造・旅行など関連産業との融合を促し、産業チェーンを伸ばし、発展空間を切り拓く。

現代的な文化市場制度をつくる。文化商品と要素市場を健全なものとし、文化市場の監督管理制度を整備し、文化商品と要素の合理的な流動を規範化し促進する。伝達が高速で広い範囲をカバーする文化伝達ルートをつくり、文芸上演系列と映画館系列を発展させ、地域的出版物発行センターを設置する。非公有資本の文化産業参入を励まし、民営文化企業の発展を支援する。文化商品とサービスを刷新し、文化消費を拡大する。

文化の省外への輸出を促す。対外宣伝や文化交流をさらに強化し、「テレビウィーク」や「文化ウィーク」などのイベントを引き続き実施し、安徽省の特色ある文化を積極的に広め、安徽文化の影響力を拡大する。国際的な文化貿易の発展に力を入れ、版權・文化商品・文化サービスなどの輸出を推進す

る。国外の大型文化メディア集団との協力の発展に力を入れる。

コラム 16 公共文化づくりの重点プロジェクト

◆ランドマーク施設建設プロジェクト。省文化館・省非物質文化遺産館・安徽百戲城などを建設する。省管轄市による文化館・図書館・博物館・デジタル映画館・郷土史館の設置を支援する。県級公共文化サービスセンター設置を扶助する。

◆文化生態保護プロジェクト。徽州文化生態保護試験区づくりを推進し、程大位珠算博物館・績溪三雕博物館・祁門紅茶博物館を拡張し、万安羅針盤博物館・徽州府衙博物館・黟県明清民居園などを新設する。黄梅戲伝承研究開発基地・中国花鼓灯原生态保護展示館を計画する。一群の民族展示館・伝統技能展示館・非物質遺産伝承基地を建設する。

◆文化情報リソース共有プロジェクト。市級の分センターと都市コミュニティ末端文化サービスポイントを全面的に完成させ、省・市・県・郷・村の5つの級のネットワークを形成し、全人口をカバーした情報リソース共有を実現する。

◆郷鎮およびコミュニティ文化センター設置プロジェクト。郷鎮文化ステーション建設を支援し、350の都市コミュニ

ティー文化センターを建設し、公益性都市農村コミュニティ電子閲覧室の設置を推進する。

◆全村へのテレビ放送「村村通」。全省の20戸以下の電気開通済み自然村へのテレビ放送開通「村村通」任務を実現させ、各村への開通から各戸への開通へと徐々に転換させる。省全体で、県の100%（区・市）、80%の郷（鎮）において光ファイバー網を開通させ、ケーブルテレビのユーザ数を1000万戸以上とし、テレビ放送の人口カバー率99%以上を実現する。

◆農村での映画上映。農村での映画のデジタル上映をさらに推進し、全省の農村で月に1度公益性の映画を上映することを基本に、徐々に上映を室外から室内へと移し、県および県以下の農村にデジタル映画館120館以上を建設する。

◆農村図書室建設プロジェクト。2012年までに、農村図書室を全省18952の行政上の村すべてに設置する。都市・農村の新聞掲示板とコミュニティ図書室の設置を同時に推進する。

第十篇 改革開放を深化させ、発展の活力を強化する

第二十六章 改革攻略の歩みの加速

第一節 行政管理と社会事業体制の改革

行政管理体制改革をさらに進める。政府の職能をさらに転換し、政府と企業・市場・社会との関係を整え、経済調節・市場の監督管理・公共サービス・社会管理という方向への政府の職能転換を実現し、サービスのための政府、法治による政府を確立し、良好な発展環境の創造に力を入れ、上質の公共サービスを提供し、社会の公平と正義を守る。大部門制改革をさらに進め、行政コストを下げ、政府の効率を向上させる。

健全で科学的・民主的・遵法的な政策決定体制を確立する。政務の公開を全面的に推進し、政府の情報公開制度を健全なものとし、各種公開事務処理制度を整備し、行政権力の透明度と公衆の参加を強化する。政府の投資体制をさらに改革し、行政審査を確実に減らし標準化して、政府投資の非経営制項目の代理制度を推進し、入札管理体制を整備する。各級の行政サービスセンターを規範化して発展させ、健全な政務サービス体系を徐々に確立する。行政問責制を整備し、行政再審査と行政訴訟制度を強化し、政府の責任説明を向上させる。県や鎮の権限拡大をさらに進め、皖江モデル地区の発展に適した管理体制と運用制度を検討し確立する。

社会事業体制改革を加速する。科学技術・文化・衛生・体育などの事業単位のタイプ別の改革を積極的かつ着実に推進し、社会的機能の位置づけに基づいて、さまざまな種別に区分し、異なる改革と管理政策を実施する。基本的公共サービスの提供方法を改革し、競争制度を導入し、サービスの購入を拡大し、提供者と提供方法の多元化を実現する。公益事業単位の管理と実施の分離を進め、公益性を強化する。基本的でない公共サービスの市場化改革を推進し、多層的な供給能力を強化し、多様化する大衆のニーズを満たす。サービス型事業運営単位の企業への制度転換を引き続き進める。

第二節 国有資産管理と国有企業体制の改革

国有資産管理を整備する。国有資産の管理理念を強化し、国有経営資産と行政事業単位資産を活用し、国有資本の配置を最適なものとし、国有資本の出入りや合理的な流動制度を健全化し、戦略的新興産業・インフラストラクチャー・社会保障などの方面への資金投入を増やす。国有資本運営責任制度の確立を急ぎ、国有企業経営業績考査体制、国有資産重大損失責任追及および予算管理制度を整備する。

国有企業改革をさらに進める。財産権の多元化を核心に、現代的企業制度構築を目標として引き続き国有企業改革を深

め、規範化された法人管理構造を確立し、国有企業の併合・連合・再編の推進に力を入れる。戦略投資家を積極的に呼び込み、国際的な競争力と影響力を持つ大企業集団を育てることに力を入れる。国有企業の全体上場または核心業務資産の資本市場入りをさらに進め、国有資産の証券化を促進する。引き続き企業の公司制度・株式制度改革を推進し、管理レベルを向上し、内部統制体制を整備し、企業のリスク防止能力を高める。独占業界の改革を促す。

第三節 財務税制体制の改革

基本的公共サービスの均等化と主体機能区の建設推進を中心として、公共財政体系をさらに整備し、科学的発展に有利な財務財政体制の構築を急ぐ。予算管理制度改革を進め、政府予算管理体制を健全なものとし、部門予算・国庫集中支出・政府購買制度をさらに整備し、予算支出パフォーマンス評価を推進する。税収徴収管理体制制度を整備する。国が地方に適切な税収管理権限を賦与するタイミングを利用し、地方税収体系づくりを進め、省級の調整管理能力を適宜増加させる。財政能力と事業権をマッチさせる原則に従い、省以下の財政体制を整備し、省と市・県との分配関係を一元的に管理し、財政能力を末端寄りにすることを堅持し、県級の基本財政能

力を確保する体制を確立する。移転支出制度を健全なものとし、移転支出プロジェクトの統合と最適化を行い、一般的な移転支出の規模と比率を高め、移転支出の機能を十分に発揮させる。地方政府性の債務リスク警告および債務管理体制の設立を検討し、地方の融資プラットフォームの秩序ある発展を規範化し、財政金融リスクを防ぐ。

第四節 資源価格の改革

重要資源製品の価格と汚染排出料金の改革を進める。水・電気・ガス・輸送などの基礎商品の価格を徐々に整理し、発電権取引および地区や省を超えた送電の管理体制改革をさらに推進する。クリーンエネルギーと再生可能エネルギーによる発電の価格決定と費用分担体制を整備する。汚水・ゴミ処理や危険廃棄物の処理などの料金基準を合理的に調整する。都市の土地売却価格管理制度を整備し、土地資源の希少性を反映させた価格形成の仕組みを徐々に確立する。

第五節 非公有制経済の大きな発展

禁止されていないものは許可し、平等に扱う原則を堅持し、体制面での障害をさらに取り除き、平等な競争のある法治・政策・市場環境づくりに力を入れ、非公有制経済の国有企業

改革に参加し、基礎産業・インフラ・市政公共事業・社会事業・金融サービスなどの分野への参入するよう励ます。中小企業向けローン・担保・リスク投資制度を健全化し、非公有制経済の融資ルートを広げる。中小企業の財務税制支持制度を健全化し、企業関連費用徴収の監督管理を強化し、企業の負担をさらに軽くする。中小企業社会サービス体制を整備し、創設間もない企業や超小型企業への扶助プロジェクトおよび中小企業成長プロジェクトの実施に力を入れる。重点分野と重点業界において業界団体と商会の設立を促す。民営企業の自主革新能力をさらに高め、民営企業の制度・技術・管理・企業文化の革新を指導し、企業家の素質を高め、企業内部の発展への動力を強める。技能型人材の育成に力を入れる。企業家と非公有制企業への宣伝にさらに力を入れる。

第二十七章 オープンな協力の水準の全面的向上

第一節 誘致企業・導入資本の質とレベルの向上

一元的な調整指導を強化し、秩序正しい競争・科学的な受け入れ・サービス意識の向上を促進し、業務効率を高める。経済発展方式の転換と産業構造アップグレードの推進を中心として、企業誘致方式を刷新し、誘致や導入資本の段階とレベルを高め、集積地型・産業チェーン型の受け入れを推進し、

産業と資本の集約を加速する。外商投資への指導を強め、外資構造を調整し、外資への開放分野を広げ、国外ローンの借用規模を拡大し、外資の利用レベルを高める。外商投資企業が省内に研究開発センター・販売センター・生産拠点・地区本部を設立するよう励まし、外資系金融・保険・担保などの企業による省内での支社設立を支援する。安徽省内の他地方商会（註：同業者連合組織）および他の地方にある安徽商会の発展を支援し、商会や協会などの仲介組織の役割を発揮させる。対外活動や香港・マカオ商人などのリソースを十分活用し、重要度の高いビジネス誘致活動を行い、実際の効果を高める。台湾からの誘致導入にさらに力を入れる。ビジネスや資本の誘致を、知識・技術の導入と組み合わせ、産業技術や産業人材、特に研究開発を中心とした全体的な受け入れにさらに力を入れる。

第二節 長江デルタを重点とした地域発展分業協力の深化

長江デルタの政府面での協力の新体制に全面的に加わり、地域の重要な協力内容と協力プロジェクトの調整実施体制を整備し、互いに連動した新しい発展の形の形成に努める。交通・エネルギー・科学技術・金融・環境保護・社会保障・情

報・信用・渉外サービス・商工管理・産業移転などの重点プロジェクトの協力を全面参加し、都市の経済分業協力範囲を拡大し、地域インフラの一体化を推進し、統一されたオープンな市場制度を確立し、それぞれの長所で相互補完を行う産業体系を形成する。中部の省との緊密な協力関係を強化し、珠江デルタ・環渤海・西部地区・香港/マカオ/台湾との連携協力を推進し、省の外周地区では周辺地区と連動した発展を励まし、チベットの山南地区・四川省松潘地区・新疆の皮山地区、重慶の渝北地区などとの相互支援業務を行い、全方位かつ多層的で広い分野にわたるオープンな協力の形を構築することに力を入れる。

第三節 貿易構造の改善

海外貿易の規模を拡大し、貿易構造を改善し、貿易発展方式の転換を実現する。輸出商品構成を調整し、自動車・設備製造・家電などアドバンテージを持つ産業とバイオ医薬・電子情報・新素材・省エネ/環境保護などのハイテク商品の輸出を拡大し、軽工業・繊維服飾・農産物など従来の産業の輸出競争力を高める。一般取引の発展を進め、沿海部の加工貿易の移転受け入れに力を入れ、技術・文化・教育・仲介などのサービス取引を積極的に発展させる。海外貿易の経営主体を

大きくし、強い競争力を持つ貿易集団を育て、中小の民営貿易企業の発展に力を入れ、海外志向が高く特色がはっきりした輸出産業クラスターと輸出基地をつくる。輸出ブランド養成を強化し、輸出商品の品質保障体系と安全検査試験体系を整備し、輸出製品の品質と付加価値を引き上げる。輸出加工区の設置を推進し、蕪湖の総合保税区設立を支援し、条件をそなえたその他の市に対しても各種の税関特殊管理監督区域設立のため努力するよう励ます。市場の多元化をさらに推進し、新興市場の開拓に力を入れる。輸出信用保証のリスク保障や貿易融資などの機能をさらに発揮させる。輸入を積極的に拡大し、希少資源・先進技術・重要設備や部品の輸入を励ます。

第四節 海外進出の歩みの加速

省内企業の国際市場への進出を支援し、海外の優良資産を購入し、生産基地・販売サービスネットワーク・研究開発機構・物流センターを打ち立て、過剰な生産能力の移転を積極的に進める。企業の海外資源開発協力を指導し、資源の安定したスムーズな入手を保障する。国際労働市場を積極的に開拓し、海外プロジェクト請負および労務協力の発展に力を入れ、海外での報酬後払い式請負やBOTプロジェクトを推進し、

海外リソースの自主的な開発に積極的に取り組む。サービスと支援の健全な体制をつくり、大規模な海外進出の環境を整える。

第十一篇 省の法治路線を堅持し、社会主義民主政治の建設を強化する

第二十八章 社会主義民主政治の発展

社会主義民主政治を発展させ、人民が主人となることを保証する。末端の民主を広範に発展させ、人民大衆の選挙権、知る権利、参加する権利、監督権を十分に保証する。省の愛国統一戦線を強く大きくし、「科学的な発展、振興の加速」実現のためにさらに広く社会の力を結集する。党の大衆工作を強化また改善し、労働組合・共産党青年団・中華全国婦女聯合会などの人民団体が持つ、連携および大衆のため働く役割を十分に発揮させる。民族の団結と進歩のための活動を広く展開し、党の宗教業務の基本方針を徹底し、民族と宗教についての業務を着実に遂行する。対外業務や海外住民関連業務を強化する。全国防教育を普及また深化させ、国防の意識を強めることに力を入れる。国防動員体制の刷新と整備を行い、国民と経済の動員や、人民の防空および交通面の戦争へのそなえをしっかりと行う。軍民融合型の発展を積極的に推進

し、経済建設と国防建設を一元的に計画する。省内駐留解放軍と武装警察部隊を支援する。人民武装工作与民兵予備役工作进行を強化する。

第二十九章 法制建設の全面推進

国家法治基本プランを全面的に実施する。科学的で民主的な立法を堅持し、財務税制・環境保護・土地・就業・社会保障・教育・文化・衛生といった政府の行為を規範化する地方法規の整備を急ぎ、法制の統一を維持する。法律に従った行政、公正廉潔な法執行を全面的に推進し、法治政府づくりを進める。司法体制の改革を深化させ、司法行為を規範化し、公正で権威ある社会主義司法制度をつくる。「六五」法律知識普及計画を実施し、法律知識の教育を強化し、法制の精神を称揚し、一人ひとりが法を学び法に従う良好な雰囲気をつくる。人権事業の全面的発展を促進する。

第三十章 腐敗反対・廉潔唱導の強化

表面と根本を正し、総合的な処置を実施し、処罰と防止の両方を行い、予防を重んじるという戦略方針を堅持し、腐敗を罰し腐敗を防ぐ体制づくりの推進を加速する。党の政治紀律を厳正に守り、中央および省委員会の省政府重要決定の執

行状況に対する紀律保障制度を健全なものとし、政令が確実に実施されるようにする。党風廉政建設責任制を厳正に実施し、腐敗反対・廉潔唱導の教育を進め、指導幹部の廉潔自律を強化し、腐敗反対・廉潔唱導のための制度刷新の推進に力を入れ、権力運用に対する制約と監督を厳正にし、紀律・法律違反案件の調査業務にさらに力を入れ、大衆の利益を損なう不正の風は厳しく是正する。

第十二篇 計画の確実な実施のために

本計画は省人民代表大会で審議また批准され、法的効力を有する。効力のある措置を実施して、計画の確実な実行を保障し、計画が確定した各項目標任務の実現に努力しなければならない。

第三十一章 計画の実施・評価制度の整備

第一節 計画の実施責任の明確化

計画に提示された、予測性の指標および産業発展・構造調整などの任務は、主に市場主体の自主的な行為によって実現される。各級政府は、市場制度と利益誘導制度の整備を通じて、良好な政策的・制度的・法律的环境をつくり、市場の分割や業界の独占を打破し、市場主体の積極性と創造性を刺激

し、市場主体の行為と政府戦略の意図とが一致するようにしなければならない。

計画に決定された拘束性指標と公共サービス分野の任務は、政府の人民大衆に対する約束である。拘束性指標は、関連部門と各市とに分解して実現させねばならない。公共サービス、特に基本公共サービス均等化促進の任務は、業務の責任と深度を明確にし、主に公共リソースを利用して全力で完成させなければならない。

第二節 政策の一元的な管理と調整の強化

計画が提示する目標と任務を中心として、経済社会発展政策の一元的な管理と調整を強化し、政策目標と政策手段、短期政策と長期政策の連携を重視する。公共財政は公共政策に従い奉仕するという原則に基づいて、財政支出と政府投資の構造を最適なものとし、民生および社会事業・農村農業・技術革新・環境保護・資源節約などの分野に重点的に投下し、皖北地区と山地・革命根拠地区・ダム地区・洪水対策地区・少数民族居住区への投下を多くする。

第三節 業績評価考査制度の整備

科学的な発展を推進し経済発展方式の転換を加速するのに有利な業績評価考査制度と具体的な考査方法の制定と整備を急ぎ、経済成長速度指標に対する評価考査を弱め、構造改善・民生改善・資源節約・環境保護・基本公共サービスといった目標任務の達成状況に対する総合評価考査を強化し、各級政府の指導グループの調整と指導幹部の選抜任用や賞罰の重要な根拠とする。

第四節 モニタリング評価の強化

モニター評価制度を整備し、モニター評価能力を向上させ、サービス業・省エネ排出削減・労働就業・収入分配・不動産など弱いセグメントの統計業務を強化し、計画実施状況のトレース分析を強化する。省の関連部門は、計画関連分野の実施状況の評価を強化し、自覚的に省人民代表大会および常務委員会の監督検査を受ける。計画実施の中期に、全面評価を組織し、中間評価報告を省人民代表大会常務委員会に提出し審議を受ける。評価によって計画に修正が必要なことが判明した場合、省人民代表大会常務委員会に提出して批准を受ける。

第三十二章 計画の調整管理の強化

全体計画・主体機能区計画・プロジェクト計画・地区計画の機能づけを明確にし、全体計画をまとめとし、主体機能区計画を基礎、プロジェクト計画・地区計画・都市計画・土地利用計画を支柱として、各計画がそれぞれはっきりした位置づけを持ち、相互に保管し全体的に連携した計画体系を形成する。科学的・民主的・標準的な作成手順を整備し、責任が明確で、分類して実施され、効果的な監督がなされる健全な実施制度をつくる。計画の審査と公布の管理を強化する。

市・県の計画は、省全体の戦略的意図を徹底させ、地方の実態を考慮し、地方の特色を目立たせたものでなければならない。市・県の計画と本計画が明らかにする発展戦略や主要目標、重点任務との調和を保つようにし、特に拘束性指標の連携を強化する。市・県の計画と本計画の全体要求が一致しない場合、地方の年度計画において相応の調整を加えるものとする。

年度計画と本計画との連携を強化する。主要指標に対しては年度目標を設置するものとし、本計画が提出する発展目標と重点任務を十分に反映させる。年度計画報告では、本計画の実施進捗状況、特に拘束性指標の達成状況を分析しなければならない。